

**「外国人住民実態調査」
調査結果報告書**

平成 24年 3月

**山 梨 県
(財) 山梨県国際交流協会**

目次

「外国人住民実態調査」概要	-----	1
調査票・回収詳細	-----	3
調査結果・概要	-----	4
アンケート調査・集計結果		
① パーソナルデータ	-----	7
② 日本語	-----	13
③ 子育て・教育	-----	19
④ 保険・医療・年金	-----	22
⑤ 日常生活・情報収集	-----	25
⑥ 防災関連	-----	28
⑦ 地域活動	-----	31
⑧ その他	-----	33
* 自由記入欄	-----	34
聞き取り調査・結果	-----	39
ワーキンググループメンバー	-----	41

アンケート調査・集計結果

「外国人住民実態調査」概要

1 調査目的

山梨県では、平成19年、「地域で暮らす外国人住民が地域に溶け込めるよう、多様性を認め合う中で相互理解を深め、安全・安心で快適に生活できる活力あふれる共生社会の創造」を基本理念とする『やまなし多文化共生推進指針』を策定し、関係団体・機関等がコミュニケーション支援、生活支援、共生の地域づくりなどの施策に取り組んできた。

今回の調査は、県内在住の外国人住民の生活実態やニーズ等を明らかにすることにより、共生社会実現のための取組みを一層推進し、今後の新たな取組みの参考資料等とするために実施した。

2 調査対象等

- (1) 対象者 山梨県内に住む外国人住民(18歳以上、大学生以上の留学生を含む)
- (2) 対象言語 使用者数の多い7言語
中国語(簡体・繁体)、ポルトガル語、韓国語、タガログ語、スペイン語、タイ語、英語の調査票を作成するとともに、必要に応じて「ふりがな付日本語の調査票」も利用できるように用意した。
- (3) 回収目標 有効回答数500部以上

3 調査期間

平成23年7月15日～9月15日(回収締切:9月30日)

4 調査方法

- ワーキンググループ(学識経験者・民間団体代表者・外国人集住市町の国際交流担当者・各国キーパーソン等により構成)を立ち上げ、調査票内容や配布・回収についてのアドバイスと協力を依頼した。
- 配布・回収に関しては、ワーキンググループメンバー、外国人登録者の多い派遣会社、日本語教室や日本語講座、外国人学校、集住エリアのある市や町の外国人登録窓口、料理店や食材店、外国人が参加するミーティングやイベント等の関係者など、様々な方々に協力を依頼して実施した。
- なお、今回の調査は、東日本大震災の直後に実施したこともあり、特に「防災関連」の調査結果を補足するため、また災害発生時の情報提供の参考とするため、調査票による調査とは別に、聞き取り調査を実施した。

5 調査項目

- | | | |
|------------|-------------|----------|
| ① パーソナルデータ | ② 日本語 | ③ 子育て・教育 |
| ④ 保険・医療・年金 | ⑤ 日常生活・情報収集 | ⑥ 防災関連 |
| ⑦ 地域活動 | ⑧ その他 | |

6 有効回答数

650部(配布総数:2,100部)

回収率:30.9%

国籍別回収数

* 中国(簡・繁)	187部	* ブラジル	190部	* 韓国	77部
* フィリピン	49部	* ペルー	45部	* タイ	22部
* その他	80部				

7 調査委託先

財団法人 山梨県国際交流協会

8 報告書の見方

- (1) 比率は全てパーセントで表示している。小数点以下第1位を四捨五入しているため、パーセントの合計が100とならないこともある(表については小数点以下第2位を四捨五入)。
- (2) 回答数は、N(回答数=全回答者数の場合)またはn(一部の回答者の場合)として表示している。パーセントはNまたはnを100%として算出している。
- (3) 回答を1つだけ選ぶ質問の場合はSA、複数回答が可能な質問はMAと表示している。ただし、本来複数回答とならないはずであるのに複数回答があった質問には、SA-Mと表示している。
- (4) 複数回答が可能な質問では、パーセントはその回答項目を選んだ人が総回答数のうち何%を占めるかを表示している。

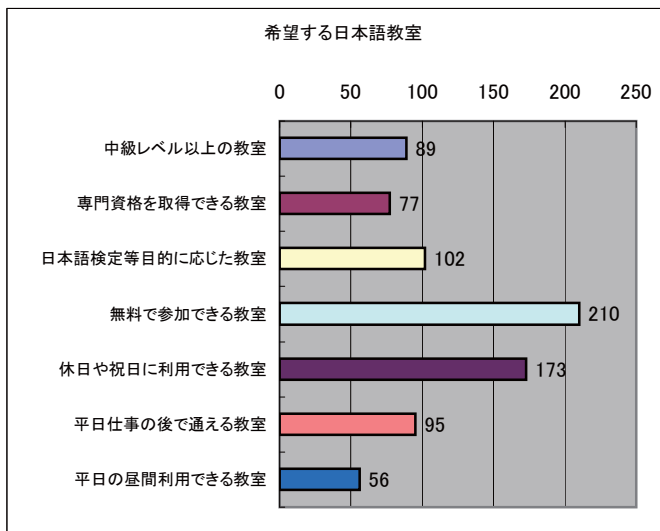
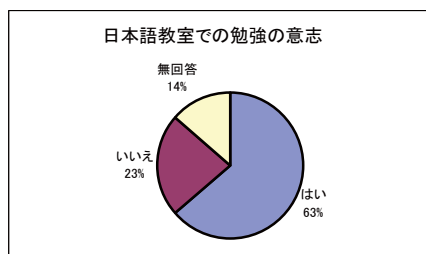
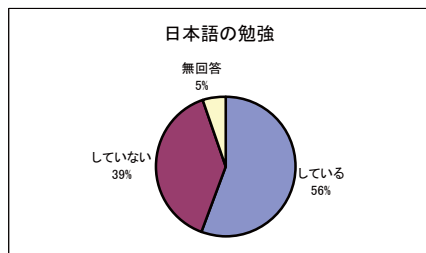
調査票・回収詳細

アンケート 言語(国・地域)別	回収部数	回収目標	参考 (平成22年末外国人登録者数)	
			人数	割合
中国語・簡体字 (中国本土)	169	130	4,070	26%
中国語・繁体字 (台湾)	18			
ポルトガル語 (ブラジル)	190	120	3,693	24%
韓国語 (韓国・朝鮮)	77	75	2,428	15%
タガログ語 (フィリピン)	49	65	1,967	13%
スペイン語 (ペルー)	45	30	1,011	6%
タイ語 (タイ)	22	20	689	4%
英語 (その他)	80	60	1,874	12%
合計	650	500	15,732	100%

調査結果・概要

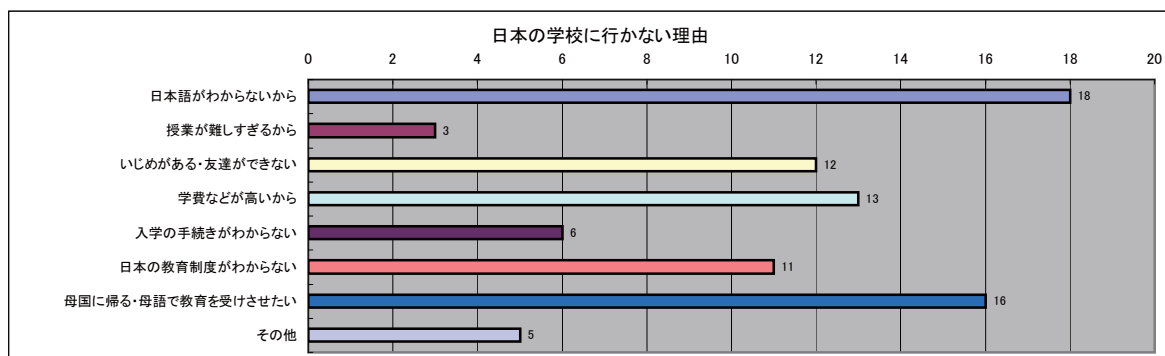
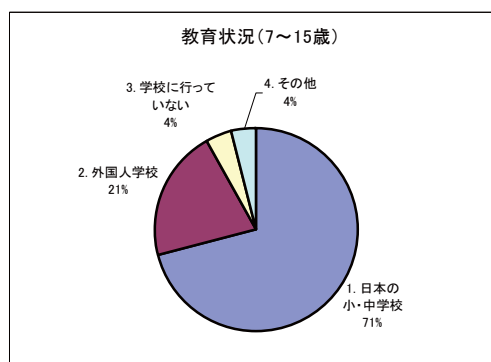
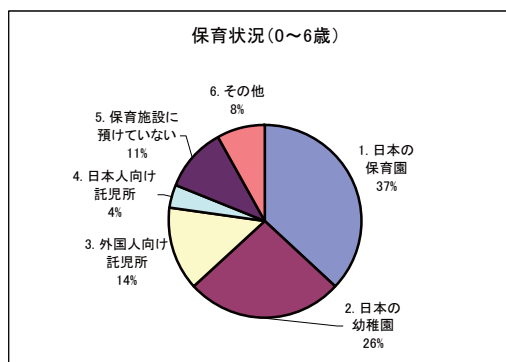
(日本語)

- ・現在日本語を勉強している人は全体の56%、また今後日本語を勉強したいと思っている人は63%と多かった。
- ・日本語教室で勉強をしたいと回答した人は、①無料で参加できる教室 ②休日や祝日に利用できる教室 ③日本語検定等目的に応じた教室 ④平日仕事の後で通える教室 ⑤中級レベル以上の教室等の希望が多かった。
- ・ニーズに対応した教室の開催とその効果的なPRが必要と思われる。



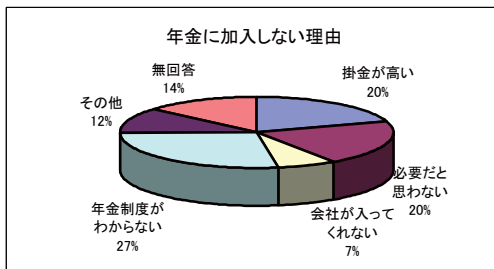
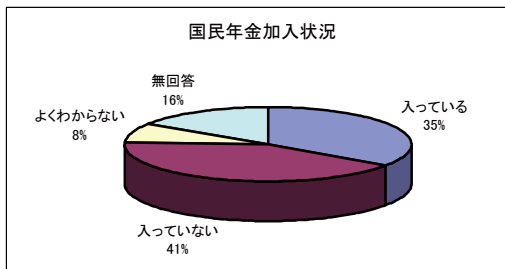
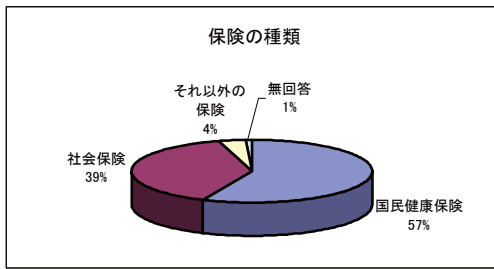
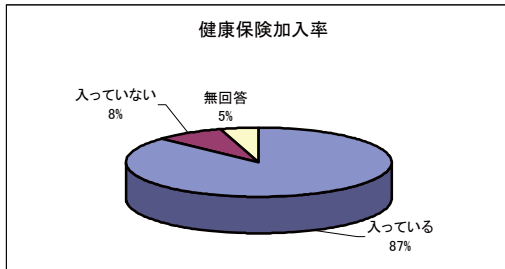
(子育て・教育)

- ・今回のデータ上では少数ではあるが、学校に行っていない子供がいる事が明らかになった。
- ・日本の学校に通っていない理由として、①日本語がわからない ②母語で教育を受けさせたい ③学費が高い ④いじめがある等が選択されている。
- ・日本の小中学校への要望では、①重要な連絡に翻訳やふりがなをつける ②先生・保護者・生徒の異文化への理解が挙げられている。



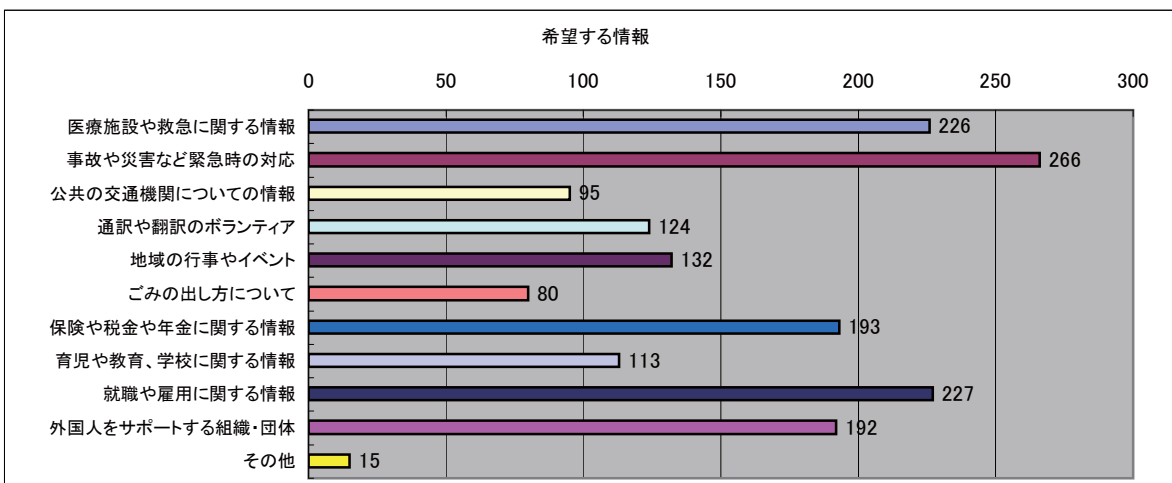
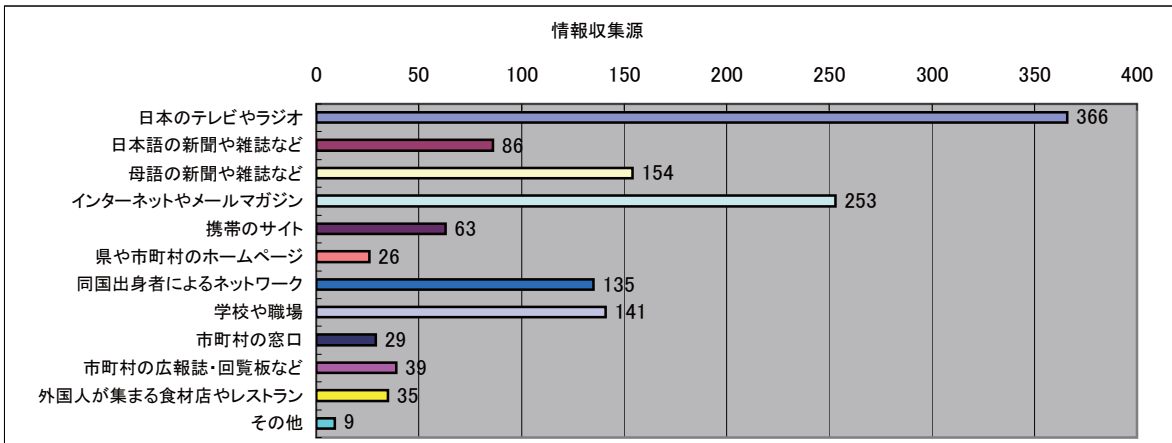
(保険・医療・年金)

- ・健康保険に入っている人は87%と多く、国民健康保険が57%、社会保険が39%を占める。
- ・一方年金に関しては、入っていない人・よくわからない人が約半数を占め、入っている人の35%を大きく上回っている。入っていない理由としては、年金制度がよくわからないという声が最も多い。



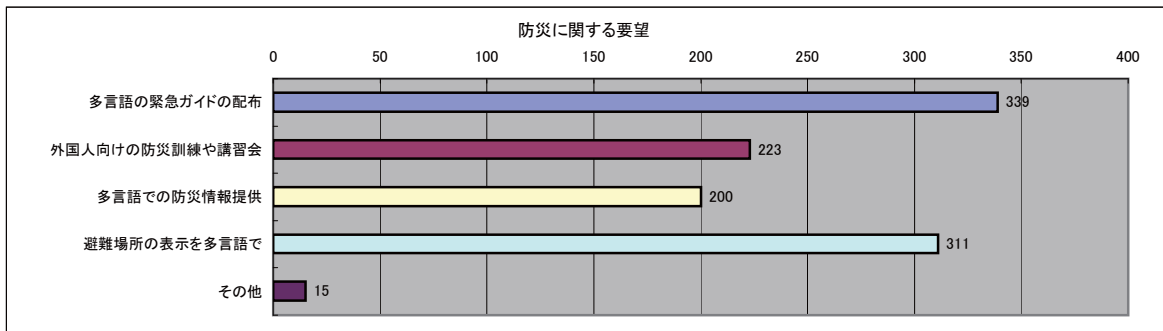
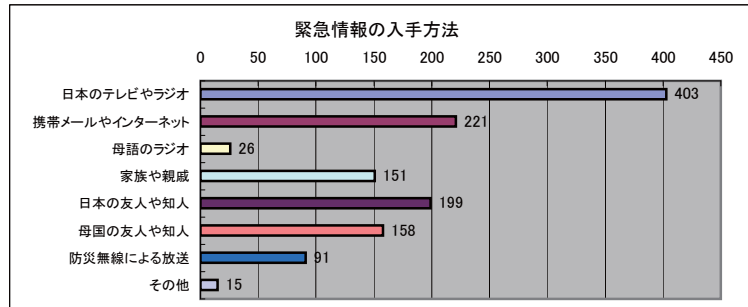
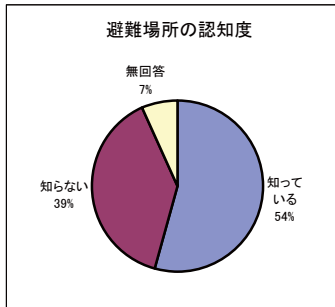
(日常生活・情報収集)

- ・生活に必要な情報の収集源は、①日本のテレビやラジオに次いで、②インターネットやメールマガジンが多い。
- ・希望する情報としては、①事故や災害など緊急時の対応 ②就職や雇用に関する情報 ③医療施設や救急に関する情報の順に多い。



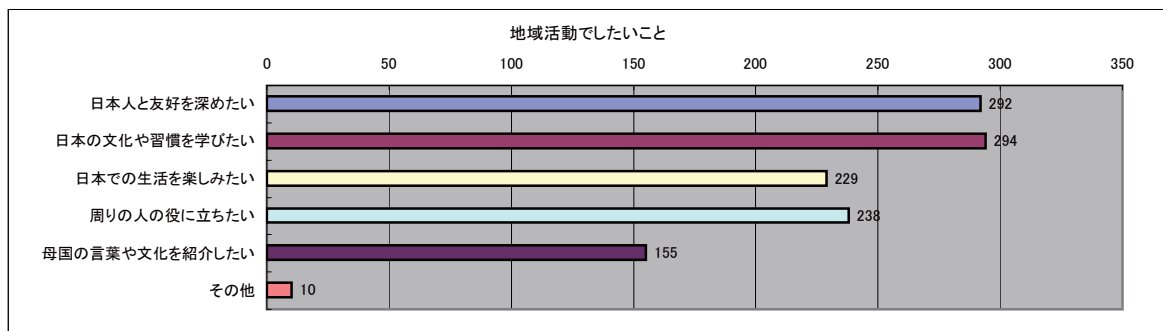
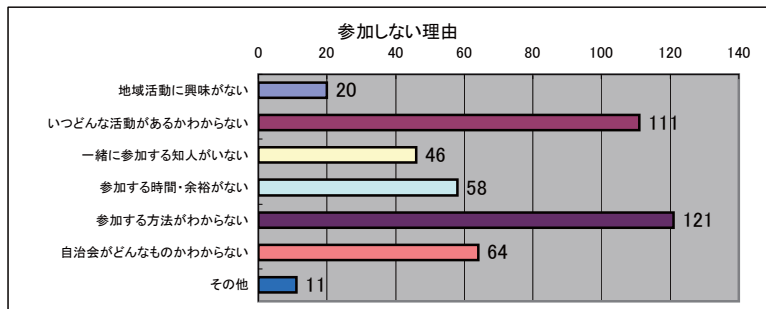
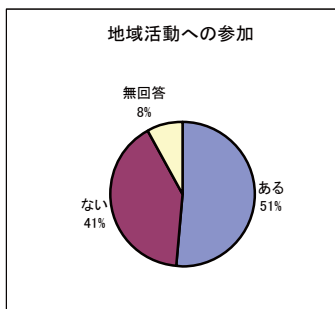
(防災関連)

- ・大震災後の調査であったが、地域の避難場所を知らない人が約4割いた。
- ・緊急情報の入手方法は、①日本のテレビやラジオ ②携帯メールやインターネットが多い。
- ・防災に関して、①多言語の緊急ガイドの配布 ②避難場所の表示の多言語化等の要望が高い。



(地域活動)

- ・地域活動に参加したことがない人が41%いたが、その理由として、①参加する方法がわからない ②いっ
どんな活動があるのかわからない等が挙げられている。
- ・一方、今後地域活動に参加したいと答えた人は約8割おり、①日本の文化や習慣を学びたい ②日本人と
友好を深めたい ③周りの人の役に立ちたいといった回答が多い。



(その他)

「山梨県国際交流センター」に関する認知度は、「知らない」という回答が44%、また活用度は、「知っているが利用したことがない」という回答が23%と多かった。

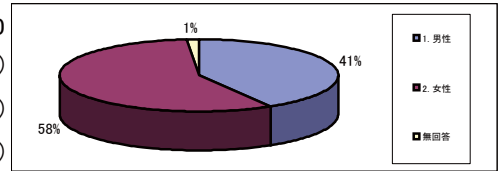
① パーソナルデータ

回答者総数 (N=650)

①-1 性別
(SA)

- 1. 男性
- 2. 女性
- 無回答

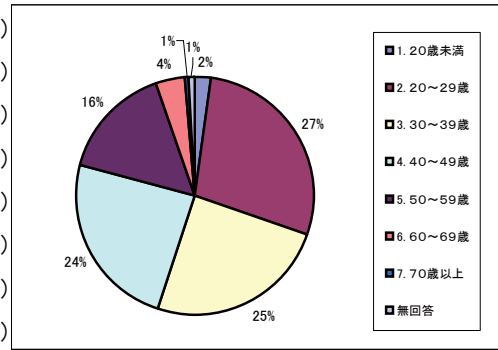
(回答数) N=650
269 (41%)
372 (58%)
9 (1%)



①-2 年齢
(SA)

- 1. 20歳未満
- 2. 20～29歳
- 3. 30～39歳
- 4. 40～49歳
- 5. 50～59歳
- 6. 60～69歳
- 7. 70歳以上
- 無回答

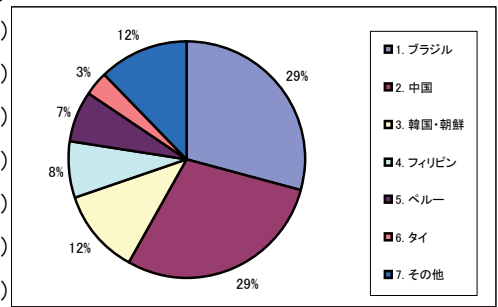
(回答数) N=650
14 (2%)
183 (27%)
161 (25%)
157 (24%)
101 (16%)
25 (4%)
4 (1%)
5 (1%)



①-3 出身国
(SA)

- 1. ブラジル
- 2. 中国
- 3. 韓国・朝鮮
- 4. フィリピン
- 5. ペルー
- 6. タイ
- 7. その他

(回答数) N=650
190 (29%)
187 (29%)
77 (12%)
49 (8%)
45 (7%)
22 (3%)
80 (12%)



(その他の出身国)

アイルランド	1	カナダ	2	バングラデシュ	1
アメリカ	11	カンボジア	1	フランス	2
アルジェリア	1	コロンビア	1	ベトナム	7
イギリス	3	ジャマイカ	1	ボリビア	1
イラン	1	スウェーデン	1	マレーシア	4
インド	28	スリランカ	1	メキシコ	1
インドネシア	1	セネガル	1	記載なし	2
ウズベキスタン	1	ネパール	7		

* 今回の調査対象者の男女比率は、男性41%、女性58%(無回答約1%)であるが、出身国により割合が大きく異なる(中国と韓国は女性が約6割、フィリピンとタイは女性が約9割)。

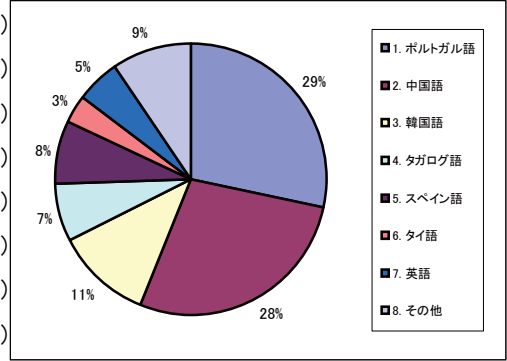
『性別』『年齢層』・出身国内訳

	ブラジル		中国		韓国・朝鮮		フィリピン		ペルー		タイ		その他	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
男性	98	51.6%	72	38.5%	27	35.1%	5	10.2%	21	46.7%	2	9.1%	44	55.0%
女性	90	47.4%	114	61.0%	48	62.3%	44	89.8%	21	46.7%	20	90.9%	35	43.8%
無回答	2	1.1%	1	0.5%	2	2.6%	0	0.0%	3	6.7%	0	0.0%	1	1.3%
20歳未満	6	3.2%	5	2.7%	1	1.3%	1	2.0%	0	0.0%	1	4.5%	0	0.0%
20～29歳	25	13.2%	91	48.7%	14	18.2%	6	12.2%	4	8.9%	8	36.4%	35	43.8%
30～39歳	48	25.3%	37	19.8%	14	18.2%	22	44.9%	10	22.2%	3	13.6%	27	33.8%
40～49歳	60	31.6%	22	11.8%	26	33.8%	14	28.6%	17	37.8%	6	27.3%	12	15.0%
50～59歳	40	21.1%	23	12.3%	13	16.9%	5	10.2%	11	24.4%	4	18.2%	5	6.3%
60～69歳	10	5.3%	6	3.2%	7	9.1%	0	0.0%	2	4.4%	0	0.0%	0	0.0%
70歳以上	1	0.5%	2	1.1%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%
無回答	0	0.0%	1	0.5%	1	1.3%	1	2.0%	1	2.2%	0	0.0%	0	0.0%

①-4 母語は何語ですか？
(SA-M)

(回答数) N=675

1. ポルトガル語	191	(29%)
2. 中国語	188	(28%)
3. 韓国語	77	(11%)
4. タガログ語	47	(7%)
5. スペイン語	51	(8%)
6. タイ語	22	(3%)
7. 英語	35	(5%)
8. その他	64	(9%)



(その他の母語)

アラビア語	1	スウェーデン語	1	イタリア語	1
イロカノ語	1	台湾語	6	ベトナム語	7
インドネシア語	2	日本語	2	ベンガル語	1
ヴィサヤ語 (Visaya)	1	ネパール語	7	マレー語	1
ウズベク語	1	ヒンディ語	26	モンゴル語	1
クメール語	1	ファルシ(ペルシャ語)	1	ロシア語	1
シンハ語	1	フランス語	3		

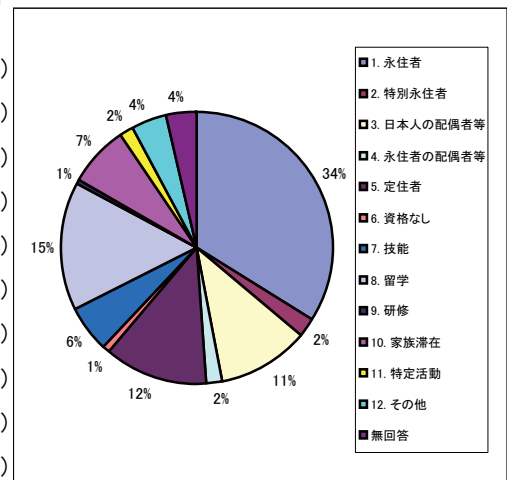
* 出身国と母語の数値が一致しないが、これは母語を複数回答している人がいるため。
(フィリピン→タガログ語 & 英語、インド→ヒンディ語 & 英語など)

①-5 在留資格 (status of residence)
(SA-M)

～身分・地位に基づく資格～

(回答数) N=721

1. 永住者	244	(34%)
2. 特別永住者	16	(2%)
3. 日本人の配偶者等	79	(11%)
4. 永住者の配偶者等	14	(2%)
5. 定住者	88	(12%)
6. 資格なし	6	(1%)
7. 技能	40	(6%)
8. 留学	110	(15%)
9. 研修	3	(1%)
10. 家族滞在	52	(7%)
11. 特定活動	13	(2%)
12. その他	30	(4%)
無回答	26	(4%)



～活動に基づく資格～

(その他の資格)

工場員(工員)	6	インストラクター	3	3年毎(短期滞在)	2
教授	3	ALT	1	仕事	1
教育者	1	経営・投資	2	記載なし	7
人文・国際	1	自営業	1		
技能実習	1	企業内転動	1		

* 在留資格も複数選択をする人が多かった。これは設問項目を、『～身分・地位に基づく資格～』と『～活動に基づく資格～』に分けて示したことにより、それぞれから1つずつ選択してしまった人が多数(71名)いたためである。

『在留資格』・出身国内訳

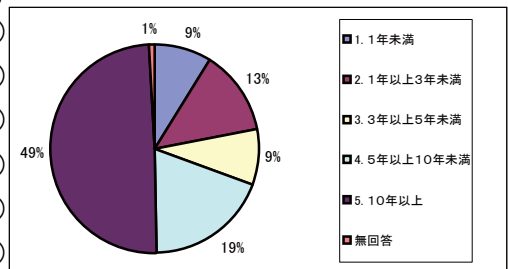
	ブラジル		中国		韓国・朝鮮		フィリピン		ペルー		タイ		その他	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
永住者	106	50.7%	50	25.1%	30	33.7%	19	33.9%	13	27.7%	3	13.0%	23	23.5%
特別永住者	1	0.5%	0	0.0%	8	9.0%	0	0.0%	2	4.3%	1	4.3%	4	4.1%
日本人の配偶者等	26	12.4%	21	10.6%	2	2.2%	13	23.2%	4	8.5%	5	21.7%	8	8.2%
永住者の配偶者等	2	1.0%	4	2.0%	2	2.2%	3	5.4%	2	4.3%	0	0.0%	1	1.0%
定住者	32	15.3%	12	6.0%	3	3.4%	10	17.9%	19	40.4%	1	4.3%	11	11.2%
資格なし	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.1%	2	8.7%	3	3.1%
技能	3	1.4%	14	7.0%	10	11.2%	5	8.9%	0	0.0%	0	0.0%	8	8.2%
留学	0	0.0%	79	39.7%	11	12.4%	0	0.0%	1	2.1%	8	34.8%	11	11.2%
研修	0	0.0%	2	1.0%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
家族滞在	6	2.9%	11	5.5%	17	19.1%	2	3.6%	2	4.3%	1	4.3%	13	13.3%
特定活動	3	1.4%	1	0.5%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	8.2%
その他	12	5.7%	5	2.5%	3	3.4%	1	1.8%	1	2.1%	1	4.3%	7	7.1%
無回答	18	8.6%	0	0.0%	1	1.1%	3	5.4%	2	4.3%	1	4.3%	1	1.0%
(合計)	209	100.0%	199	100.0%	89	100.0%	56	100.0%	47	100.0%	23	100.0%	98	100.0%

①-6 ①-6
(SA) 日本に何年
住んでいますか？

- 1. 1年未満
- 2. 1年以上3年未満
- 3. 3年以上5年未満
- 4. 5年以上10年未満
- 5. 10年以上
- 無回答

(回答数) N=650

- 58 (9%)
- 85 (13%)
- 56 (9%)
- 125 (19%)
- 321 (49%)
- 5 (1%)



『滞在期間』・出身国内訳

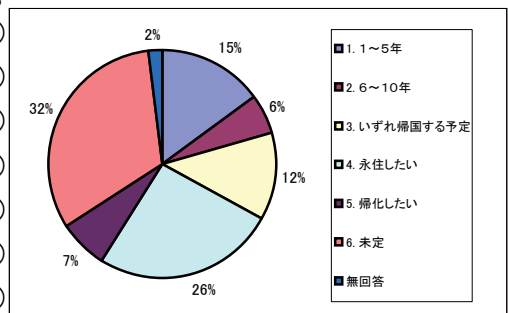
	ブラジル		中国		韓国・朝鮮		フィリピン		ペルー		タイ		その他	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1年未満	1	0.5%	29	15.5%	7	9.1%	3	6.1%	0	0.0%	8	36.4%	10	12.5%
1年以上3年未満	6	3.2%	48	25.7%	7	9.1%	3	6.1%	0	0.0%	1	4.5%	20	25.0%
3年以上5年未満	15	7.9%	21	11.2%	5	6.5%	4	8.2%	1	2.2%	1	4.5%	9	11.3%
5年以上10年未満	39	20.5%	37	19.8%	15	19.5%	10	20.4%	9	20.0%	2	9.1%	13	16.3%
10年以上	129	67.9%	52	27.8%	42	54.5%	28	57.1%	34	75.6%	10	45.5%	26	32.5%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%	1	2.0%	1	2.2%	0	0.0%	2	2.5%

①-7 ①-7
(SA-M) 今後の滞在予定

- 1. 1~5年
- 2. 6~10年
- 3. いずれ帰国する予定
- 4. 永住したい
- 5. 帰化したい
- 6. 未定
- 無回答

(回答数) N=653

- 98 (15%)
- 37 (6%)
- 81 (12%)
- 169 (26%)
- 44 (7%)
- 212 (32%)
- 12 (2%)

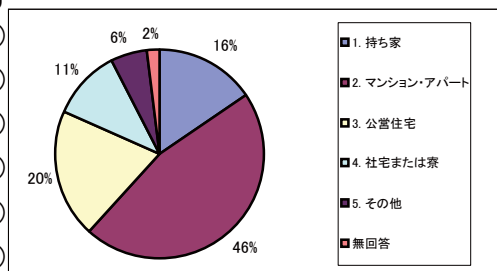


『滞在予定』・出身国内訳

	ブラジル		中国		韓国・朝鮮		フィリピン		ペルー		タイ		その他	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1～5年	21	11.1%	26	13.8%	12	15.6%	5	10.2%	4	8.9%	1	4.3%	29	35.8%
6～10年	14	7.4%	8	4.3%	10	13.0%	1	2.0%	1	2.2%	0	0.0%	3	3.7%
いずれ帰国予定	19	10.0%	16	8.5%	5	6.5%	24	49.0%	6	13.3%	8	34.8%	3	3.7%
永住したい	32	16.8%	68	36.2%	24	31.2%	1	2.0%	15	33.3%	5	21.7%	24	29.6%
帰化したい	7	3.7%	23	12.2%	0	0.0%	7	14.3%	6	13.3%	0	0.0%	1	1.2%
未定	95	50.0%	43	22.9%	24	31.2%	8	16.3%	12	26.7%	9	39.1%	21	25.9%
無回答	2	1.1%	4	2.1%	2	2.6%	3	6.1%	1	2.2%	0	0.0%	0	0.0%
(合計)	190	100.0%	188	100.0%	77	100.0%	49	100.0%	45	100.0%	23	100.0%	81	100.0%

①-8 す 住んでいる
(SA) いえ しゅるい 家の種類

	(回答数)	N=650	
1. 持ち家	102	(16%)	
2. マンション・アパート	299	(46%)	
3. 公営住宅	130	(20%)	
4. 社宅または寮	71	(11%)	
5. その他	36	(6%)	
無回答	12	(2%)	

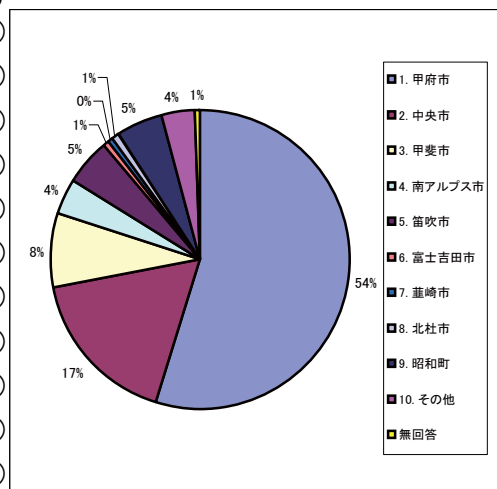


(その他の住まい)

借家	16	団地	2	記載なし	9
賃貸	3	店舗兼住宅(商店街・レストラン)	2		
知人宅	2	父の家・夫の家	2		

①-9 す 住んでいる地域
(SA) ちいき

	(回答数)	N=650	
1. 甲府市	356	(54%)	
2. 中央市	112	(17%)	
3. 甲斐市	52	(8%)	
4. 南アルプス市	25	(4%)	
5. 笛吹市	32	(5%)	
6. 富士吉田市	5	(1%)	
7. 韮崎市	3	(0%)	
8. 北杜市	6	(1%)	
9. 昭和町	32	(5%)	
10. その他	23	(4%)	
無回答	4	(1%)	



(その他の地域)

市川大門・市川三郷	11	甲州市	2	大月市	1
山梨市	6	富士川	2	身延町	1

* 今回の調査は、各国キーパーソンや外国人集住市町の国際交流担当者(外国人登録窓口)などワーキンググループの方々、外国人登録者の多い派遣会社の方々等、多くの関係者の協力を得て実施したが、結果的に甲府市周辺の回収数が多くなった。

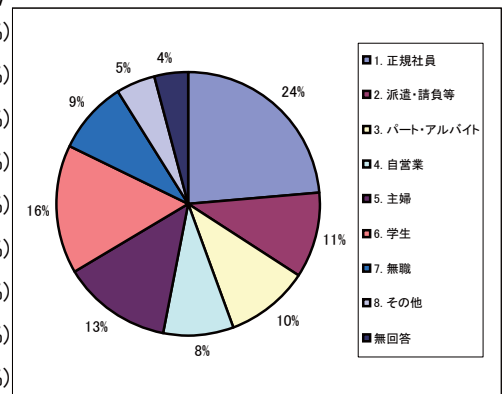
『居住地』・出身国内訳

	ブラジル		中国		韓国・朝鮮		フィリピン		ペルー		タイ		その他	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
甲府市	46	24.2%	120	64.2%	68	88.3%	23	46.9%	14	31.1%	17	77.3%	68	85.0%
中央市	88	46.3%	7	3.7%	0	0.0%	1	2.0%	13	28.9%	1	4.5%	2	2.5%
甲斐市	9	4.7%	29	15.5%	3	3.9%	8	16.3%	1	2.2%	0	0.0%	2	2.5%
南アルプス市	9	4.7%	3	1.6%	0	0.0%	3	6.1%	7	15.6%	2	9.1%	1	1.3%
笛吹市	4	2.1%	12	6.4%	1	1.3%	8	16.3%	6	13.3%	0	0.0%	1	1.3%
富士吉田市	2	1.1%	1	0.5%	1	1.3%	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
韮崎市	1	0.5%	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.2%	0	0.0%	0	0.0%
北杜市	2	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.8%
昭和町	16	8.4%	10	5.3%	3	3.9%	1	2.0%	1	2.2%	1	4.5%	0	0.0%
その他	11	5.8%	4	2.1%	1	1.3%	3	6.1%	1	2.2%	1	4.5%	3	3.8%
無回答	2	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.2%	0	0.0%	0	0.0%

①-10 仕事

(SA-M) ~主婦、バイト、学生含~

	(回答数)	N=667
1. 正規社員	157	(24%)
2. 派遣・請負等	71	(11%)
3. パート・アルバイト	69	(10%)
4. 自営業	56	(8%)
5. 主婦	89	(13%)
6. 学生	106	(16%)
7. 無職	59	(9%)
8. その他	32	(5%)
無回答	28	(4%)



(その他の仕事)

語学講師・教育者・教師	7	公務員	1	縫製業	2
研究者	2	団体職員	1	妊娠中・育児休暇	2
牧師・教師	1	会社(経営)	1	年金受給	1
ALT(市職員)	1	人事職	1	脳溢血後のリハビリ中	1
インストラクター	1	会社勤務	1	記載なし	5
農業	1	工場員	1		
介護士	1	6ヶ月ごとの契約更新	1		

* 仕事に関する調査結果は、「2.派遣・請負等」に比べ、「1.正規社員」が約2倍と多くなっている。

配布・回収にあたり外国人登録者の多い派遣会社の方々に多くの協力をいただいている実状、及び法務省発表「外国人雇用状況の届出状況」(H22.10末現在)による外国人労働者数中、派遣・請負労働者の比率が42.7%であること等から考えても矛盾が生じる。

「正規社員」、「派遣・請負等」などに関する認識が、調査側と回答者側で異なっている可能性が高い。

『仕事』・出身国内訳

	ブラジル		中国		韓国・朝鮮		フィリピン		ペルー		タイ		その他	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
正規社員	100	52.1%	13	6.5%	5	6.5%	6	11.8%	15	32.6%	1	4.5%	17	21.3%
派遣・請負等	35	18.2%	10	5.0%	3	3.9%	2	3.9%	15	32.6%	0	0.0%	6	7.5%
パート・アルバイト	3	1.6%	30	15.1%	2	2.6%	16	31.4%	1	2.2%	7	31.8%	10	12.5%
自営業	5	2.6%	11	5.5%	22	28.6%	2	3.9%	0	0.0%	3	13.6%	13	16.3%
主婦	14	7.3%	27	13.6%	23	29.9%	11	21.6%	6	13.0%	3	13.6%	5	6.3%
学生	3	1.6%	71	35.7%	13	16.9%	0	0.0%	1	2.2%	6	27.3%	12	15.0%
無職	9	4.7%	27	13.6%	3	3.9%	8	15.7%	5	10.9%	1	4.5%	6	7.5%
その他	9	4.7%	5	2.5%	4	5.2%	3	5.9%	0	0.0%	1	4.5%	10	12.5%
無回答	14	7.3%	5	2.5%	2	2.6%	3	5.9%	3	6.5%	0	0.0%	1	1.3%
(合計)	192	100.0%	199	100.0%	77	100.0%	51	100.0%	46	100.0%	22	100.0%	80	100.0%

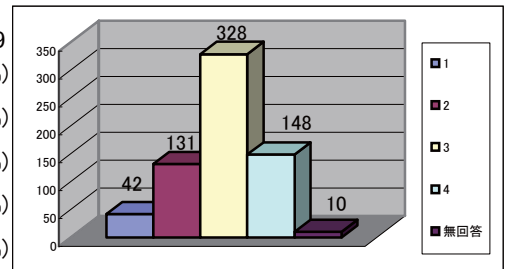
②-1 日本語はどれくらいできますか？

(SA-M) ・話す力

1. ほとんど話せない
 2. 簡単な挨拶や単語は話せる
 3. 日常会話はだいたい話せる
 4. 十分に話せる
- 無回答

(回答数) N=659

42 (6%)
131 (20%)
328 (50%)
148 (22%)
10 (2%)

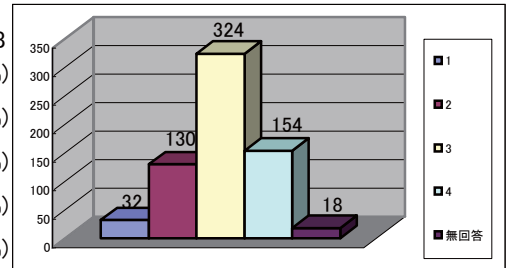


・聞く力

1. ほとんど聞き取れない
 2. 簡単な挨拶や単語は聞き取れる
 3. 日常会話はだいたい理解できる
 4. 十分に聞き取れ理解できる
- 無回答

N=658

32 (5%)
130 (20%)
324 (49%)
154 (23%)
18 (3%)

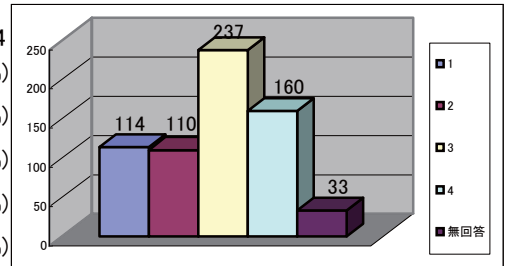


・読む力

1. ほとんど読めない
 2. ひらがながだいたい読める
 3. 簡単な漢字とひらがなカタカナが読める
 4. 辞書を使えば新聞や雑誌が読める
- 無回答

N=654

114 (17%)
110 (17%)
237 (36%)
160 (25%)
33 (5%)

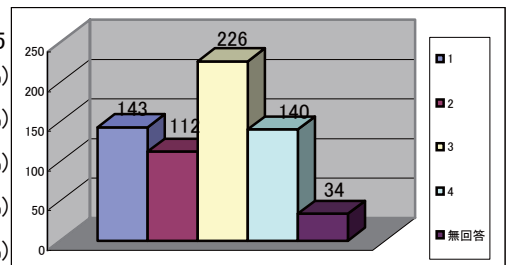


・書く力

1. ほとんど書けない
 2. ひらがながだいたい書ける
 3. 簡単な漢字とひらがなカタカナが書ける
 4. 漢字を使った文章が書ける
- 無回答

N=655

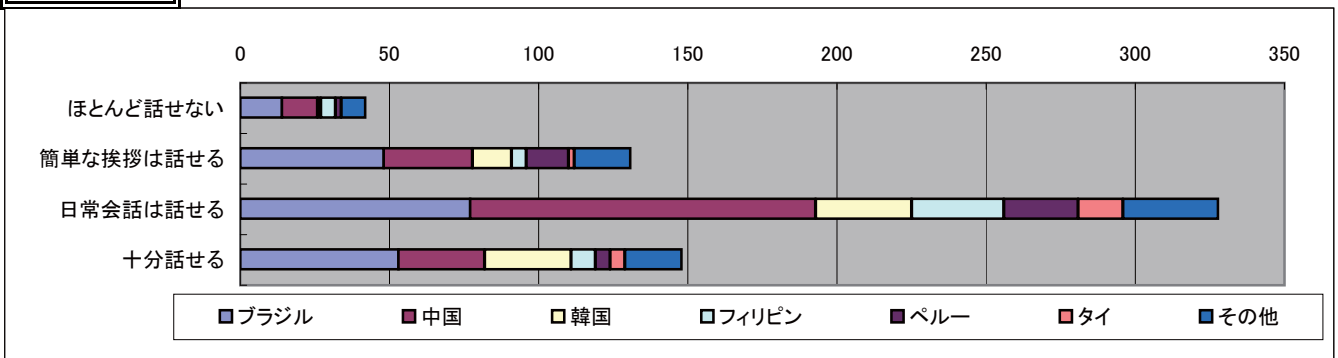
143 (22%)
112 (17%)
226 (35%)
140 (21%)
34 (5%)



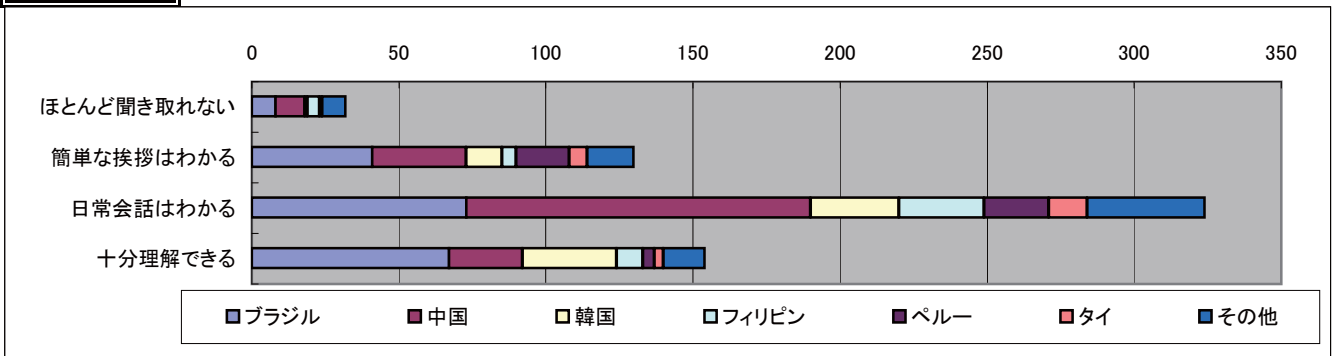
* 『話す力・聞く力』においては、「1.ほとんど話せない」→42名、「1.ほとんど聞き取れない」→32名と、該当者が少ないのに対して、『読む力・書く力』においては、「1.ほとんど読めない」→114名、「1.ほとんど書けない」→143名と、該当者が3～4倍程多くなっている。

『読む力・書く力』の能力が低いのは、ブラジル・フィリピン・ペルー・その他(英語圏)出身者の比率が高い。

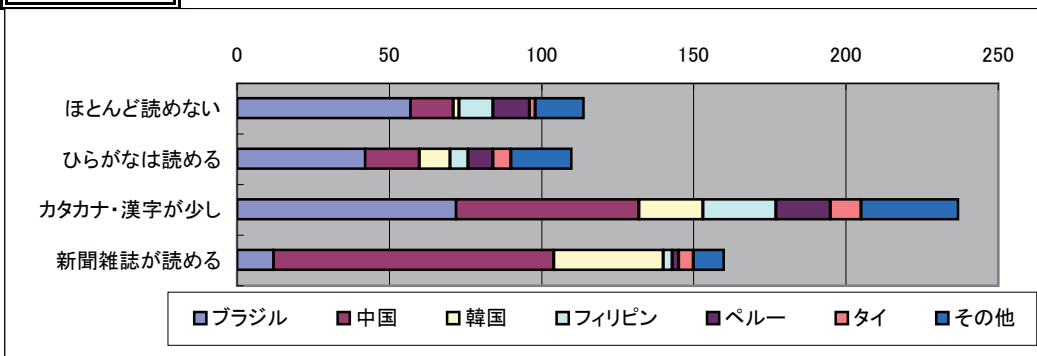
話す力



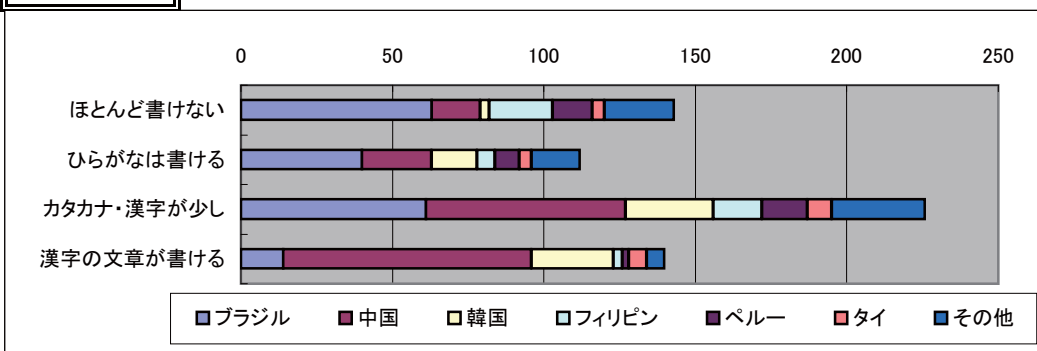
聞く力



読む力



書く力

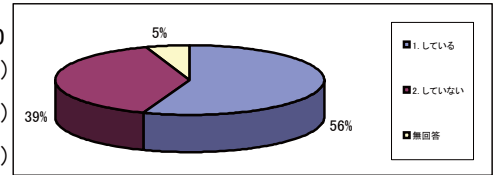


『出身国』・日本語能力内訳

話す力	ブラジル		中国		韓国・朝鮮		フィリピン		ペルー		タイ		その他	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
ほとんど話せない	14	7.2%	12	6.4%	1	1.3%	5	10.0%	2	4.3%	0	0.0%	8	10.0%
簡単な挨拶は話せる	48	24.7%	30	16.0%	13	16.9%	5	10.0%	14	29.8%	2	8.7%	19	23.8%
日常会話は話せる	77	39.7%	116	61.7%	32	41.6%	31	62.0%	25	53.2%	15	65.2%	32	40.0%
十分話せる	53	27.3%	29	15.4%	29	37.7%	8	16.0%	5	10.6%	5	21.7%	19	23.8%
無回答	2	1.0%	1	0.5%	2	2.6%	1	2.0%	1	2.1%	1	4.3%	2	2.5%
聞く力	ブラジル		中国		韓国・朝鮮		フィリピン		ペルー		タイ		その他	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
ほとんど聞き取れない	8	4.1%	10	5.3%	1	1.3%	4	8.0%	1	2.2%	0	0.0%	8	10.0%
簡単な挨拶はわかる	41	21.1%	32	17.0%	12	15.6%	5	10.0%	18	39.1%	6	26.1%	16	20.0%
日常会話はわかる	73	37.6%	117	62.2%	30	39.0%	29	58.0%	22	47.8%	13	56.5%	40	50.0%
十分理解できる	67	34.5%	25	13.3%	32	41.6%	9	18.0%	4	8.7%	3	13.0%	14	17.5%
無回答	5	2.6%	4	2.1%	2	2.6%	3	6.0%	1	2.2%	1	4.3%	2	2.5%
読む力	ブラジル		中国		韓国・朝鮮		フィリピン		ペルー		タイ		その他	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
ほとんど読めない	57	29.8%	14	7.4%	2	2.6%	11	22.0%	12	26.7%	2	8.7%	16	20.0%
ひらがなは読める	42	22.0%	18	9.6%	10	13.0%	6	12.0%	8	17.8%	6	26.1%	20	25.0%
カタカナ・漢字が少し	72	37.7%	60	31.9%	21	27.3%	24	48.0%	18	40.0%	10	43.5%	32	40.0%
新聞雑誌が読める	12	6.3%	92	48.9%	36	46.8%	3	6.0%	2	4.4%	5	21.7%	10	12.5%
無回答	8	4.2%	4	2.1%	8	10.4%	6	12.0%	5	11.1%	0	0.0%	2	2.5%
書く力	ブラジル		中国		韓国・朝鮮		フィリピン		ペルー		タイ		その他	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
ほとんど書けない	63	33.0%	16	8.5%	3	3.9%	21	41.2%	13	28.9%	4	17.4%	23	28.8%
ひらがなは書ける	40	20.9%	23	12.2%	15	19.5%	6	11.8%	8	17.8%	4	17.4%	16	20.0%
カタカナ・漢字が少し	61	31.9%	66	35.1%	29	37.7%	16	31.4%	15	33.3%	8	34.8%	31	38.8%
漢字の文章が書ける	14	7.3%	82	43.6%	27	35.1%	3	5.9%	2	4.4%	6	26.1%	6	7.5%
無回答	13	6.8%	1	0.5%	3	3.9%	5	9.8%	7	15.6%	1	4.3%	4	5.0%

②-2 現在、日本語を勉強していますか？
(SA) 1. している
2. していない
無回答

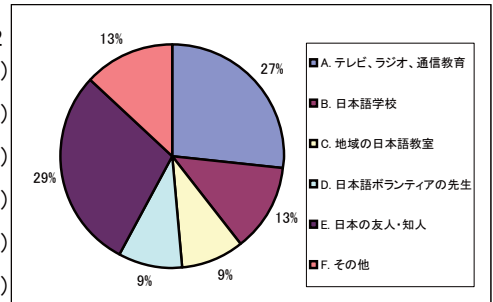
(回答数) N=650
362 (56%)
254 (39%)
34 (5%)



1. している → (勉強方法)

(MA) A. テレビ、ラジオ、通信教育
B. 日本語学校
C. 地域の日本語教室
D. 日本語ボランティアの先生
E. 日本の友人・知人
F. その他
(その他のコメント)

n=432
115 (27%)
55 (13%)
40 (9%)
40 (9%)
125 (29%)
57 (13%)

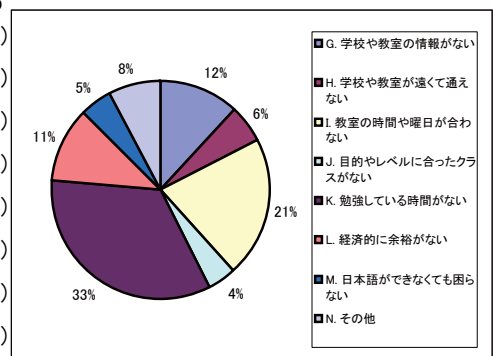


自分で(独学)	19	KUMON	5	日常生活や会話を通して	2
大学の日本語クラス	16	配偶者(家族が日本人)	4	記載なし	3
プライベートチューター	5	インターネット・書籍	3		

2. していない → (理由)

(MA) G. 学校や教室の情報がない
H. 学校や教室が遠くて通えない
I. 教室の時間や曜日が合わない
J. 目的やレベルに合ったクラスがない
K. 勉強している時間がない
L. 経済的に余裕がない
M. 日本語ができなくても困らない
N. その他
(その他のコメント)

n=396
47 (12%)
22 (6%)
83 (21%)
16 (4%)
134 (33%)
45 (11%)
18 (5%)
31 (8%)

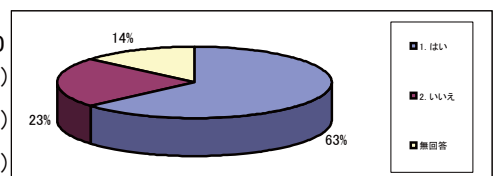


必要ない(充分話せる)	10	仕事をしているため時間が無かった	2
自分で勉強できる(テレビ等)	3	幼稚園に通っている子供がいるので難しい	1
今は勉強していない(以前勉強済)	6	日本語を学ぶ事に疲れた	1
運転ができないから	1	学ぶ意欲が無い	1
持病があるため難しい	1	記載なし	5

* 現在日本語を勉強している人は約56%と多く、方法としては「日本の友人・知人」から教わる、「テレビ・ラジオ・通信教育」が多かった。これは自分の都合の良い時間に勉強できる事が理由として考えられる。
また、勉強していない理由としては「勉強している時間がない」が多く、仕事や日常生活で多忙な為、勉強する意志はあっても実際にはできないという人も多いようである。「教室の時間や曜日が合わない」ために勉強していないという回答も約2割あった。

②-3 今後、日本語教室で勉強したいと思えますか？
(SA) 1. はい
2. いいえ
無回答

(回答数) N=650
413 (63%)
149 (23%)
88 (14%)



『出身国』・日本語教室利用希望内訳

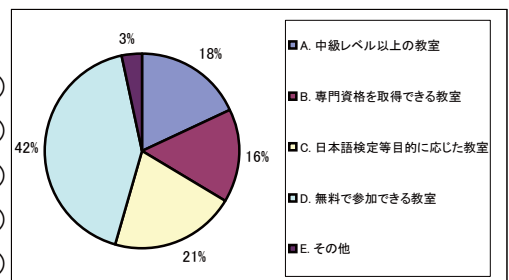
	ブラジル		中国		韓国・朝鮮		フィリピン		ペルー		タイ		その他	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
はい	126	66.3%	113	60.4%	43	55.8%	34	69.4%	36	80.0%	16	72.7%	45	56.3%
いいえ	35	18.4%	46	24.6%	24	31.2%	3	6.1%	5	11.1%	3	13.6%	33	41.3%
無回答	29	15.3%	28	15.0%	10	13.0%	12	24.5%	4	8.9%	3	13.6%	2	2.5%

1. はい → (希望する教室)

(レベルや内容)

- (MA) A. 中級レベル以上の教室
 B. 専門資格を取得できる教室
 C. 日本語検定等目的に応じた教室
 D. 無料で参加できる教室
 E. その他

(回答数) n=495
89 (18%)
77 (16%)
103 (21%)
210 (42%)
16 (3%)



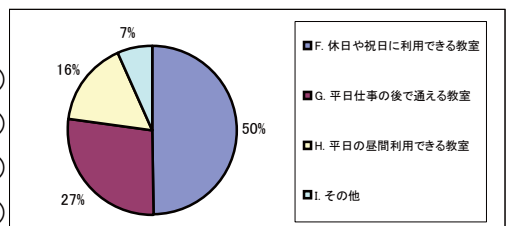
(その他のコメント)

初級(基本)	3	日本文化	1
日常会話	5	プライベート授業	2
初級者の次のクラス	1	通信教育	1
日本での生活のプラスになる内容	1	勉強中	1
先生になる為の勉強	1		

(曜日や時間)

- (MA) F. 休日や祝日に利用できる教室
 G. 平日仕事の後で通える教室
 H. 平日の昼間利用できる教室
 I. その他

(回答数) n=347
173 (50%)
95 (27%)
56 (16%)
23 (7%)



(その他のコメント)

午前中	1	金曜日	1
夜(8時以降)	2	日曜日・週末	3
平日の朝か午後	1	週1回	2
朝と夜	1	誰かが子供の面倒を見てくれる時(休日)	1
家に来て教えてくれるボランティア希望	1	(時間がある時自分で勉強する)	1
フリータイム	1	(歳を取っているので今後勉強したいと思わない)	1
勉強したいが時間が無い	4	記載なし	3

* 希望する日本語教室としては、レベルや内容に関しては、「無料で参加できる教室」が圧倒的に多かった。また、初級や日常会話よりも、「日本語検定など目的に応じた教室」や「中級レベル以上の教室」を希望する人が多いことがわかった。曜日や時間に関しては、「休日や祝日に利用できる教室」を希望する人が半数を占めている。

『出身国』『居住地域』・日本語教室希望内容内訳

	中級レベル以上	専門資格取得	日本語検定等	無料参加	休日や祝日	平日仕事の後	平日の昼間
ブラジル	24	19	37	79	64	27	7
中国	31	27	31	57	46	25	21
韓国	16	7	8	11	8	12	10
フィリピン	1	12	3	19	12	8	7
ペルー	7	6	5	24	22	5	2
タイ	4	1	5	7	5	5	3
その他	6	5	14	13	16	13	6
計	89	77	103	210	173	95	56
甲府市	52	43	55	105	79	59	36
中央市	13	11	25	51	44	15	7
甲斐市	9	10	4	13	17	3	4
南アルプス市	7	2	4	7	10	3	0
笛吹市	1	5	1	11	7	3	3
富士吉田市	0	1	3	0	1	0	0
韮崎市	1	0	1	3	2	0	0
北杜市	1	0	2	2	2	2	0
昭和町	3	2	4	5	3	1	4
その他	2	3	4	13	8	9	2
計	89	77	103	210	173	95	56

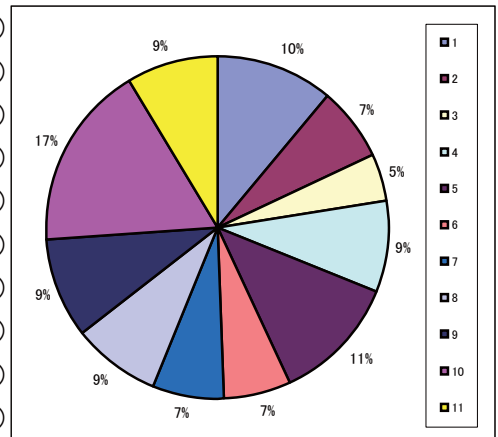
③-1 出産や子育てについて困ったことや心配なこと

(回答数) n=400

(MA)

回答者数:229

1. 妊娠や出産の際の手続きがわかりにくい **44** (10%)
2. 妊産婦の健診がよくわからない **28** (7%)
3. 出産の方法が母国と異なる **18** (5%)
4. 予防接種の時期や方法がわからない **34** (9%)
5. 子育て中の親同士の交流機会が少ない **48** (11%)
6. 保育園や幼稚園の入所方法がわからない **26** (7%)
7. 保育園や幼稚園で子供がいじめられる **26** (7%)
8. 仕事中に子供を預けるところがない **34** (9%)
9. 子育ての悩みを相談するところがない **37** (9%)
10. 子供が母語を忘れてしまう **70** (17%)
11. その他 **35** (9%)



(政府の認可を受けた)インターナショナルスクールや英語学校が無い	11
外国人と日本人を対象としたリーズナブルなインターナショナルスクールが早急に必要	3
デイケアセンターや保育所で弁当持参を許可してくれない	3
外国人住民が利用できるデイケアセンターの探し方がわからない	2
学校の授業で解らないことがある時に教えてもらえる所や、もっと簡単に説明してくれる人がいるか?	1
大学入試に関する資料や情報について相談する所がない	1
子供を保育園に入れるのが難しい	2
子供が外国のアイデンティティを無くしてしまう	1
子供の学校の事	1
PDD(広汎性発達障害)の子供達の情報不足	1
子供の学校に費やす時間が長い	1
問題や心配事はない(神様が守ってくれている)	3
国際的な英語教育が行われていない	1
記載なし	3
結婚をする前に産んだ子供が母国にいる	1

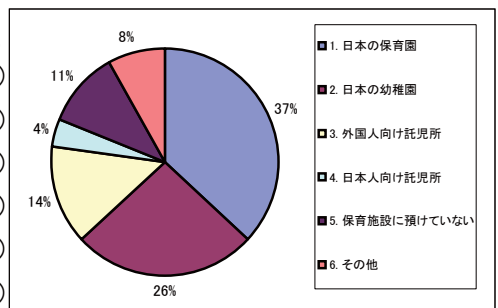
③-2 就学前(0~6歳)のお子さんの保育状況(預けている施設)

(回答数) n=163

(MA)

回答者数:148

1. 日本の保育園 **60** (37%)
2. 日本の幼稚園 **43** (26%)
3. 外国人向け託児所 **23** (14%)
4. 日本人向け託児所 **6** (4%)
5. 保育施設に預けていない **18** (11%)
6. その他 **13** (8%)



家にいる、家族が見ている	3
乳児	2
ブラジル学校(13:00~17:30まで預けている)	2
記載なし	6

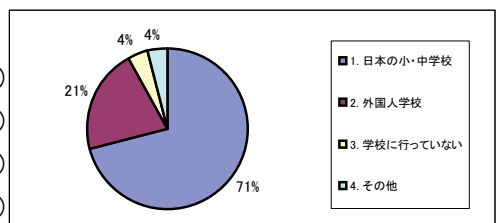
③-3 小・中学生(7~15歳)のお子さんの教育状況

(回答数) n=186

(MA)

回答者数:183

1. 日本の小・中学校 **132** (71%)
2. 外国人学校 **39** (21%)
3. 学校に行っていない **8** (4%)
4. その他 **7** (4%)



母国(インド・中国)の学校に行っている	2
ホームスクール	1
(高校に行っている)	1
記載なし	3

『出身国』・就学状況内訳(外国人学校・不就学)

	ブラジル		中国		韓国・朝鮮		フィリピン		ペルー		タイ		その他	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
外国人託児所	13	56.5%	1	4.3%	0	0.0%	2	8.7%	3	13.0%	0	0.0%	4	17.4%
外国人学校	21	53.8%	5	12.8%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	12	30.8%
学校に行っていない	2	25.0%	3	37.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	25.0%	0	0.0%	1	12.5%

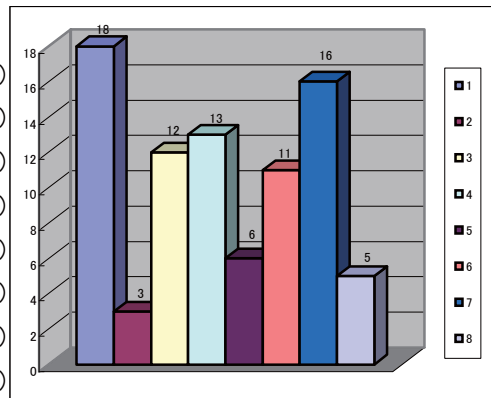
③-4 日本の小・中学校に通っていない場合の理由

(MA)

1. 日本語がわからないから
2. 授業が難しすぎるから
3. いじめがある・友達ができない
4. 学費などが高いから
5. 入学の手続きがわからない
6. 日本の教育制度がわからない
7. 母国に帰る・母語で教育を受けさせたい
8. その他

(回答数) n=84

- | | |
|----|-------|
| 18 | (21%) |
| 3 | (4%) |
| 12 | (14%) |
| 13 | (15%) |
| 6 | (7%) |
| 11 | (13%) |
| 16 | (19%) |
| 5 | (6%) |



(その他のコメント)

甲府にはインターナショナルスクールが無いから	1	
日本の学校の時間帯が仕事の時間帯と合わない	1	
家から遠い	1	記載なし
母親が現在仕事をしていないから	1	

* 外国人向け託児所や外国人学校に通っているのはブラジル人が多い。これは山梨県内に複数のブラジル人学校が有るためと考えられる。

外国人学校に通っている「その他」(12名)の国籍は全てインド(甲府市内にイングリッシュスクール・小学部有)。

日本の小・中学校に通っていない理由としては、「日本語がわからないから」が一番多くなっている。

またデータ上は数が少ないが、学校に行っていない不就学の子供がいるという実状は大きな問題である。

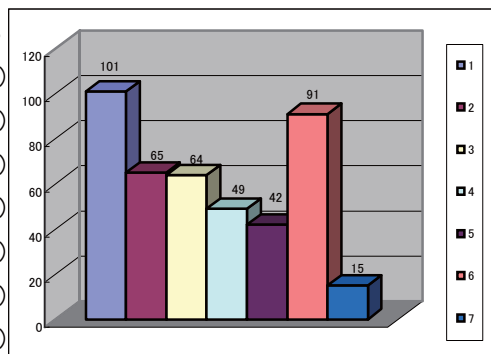
③-5 日本の小・中学校に要望したいこと

(MA)

1. 重要な連絡は翻訳やふりがなをつける
2. 進学や就職の指導を多言語で
3. 母語のできる通訳や指導者の配置
4. 授業の補講や日本語指導
5. 日本の教育制度の説明
6. 先生・保護者・生徒の異文化への理解
7. その他

(回答数) n=427

- | | |
|-----|-------|
| 101 | (24%) |
| 65 | (15%) |
| 64 | (15%) |
| 49 | (11%) |
| 42 | (10%) |
| 91 | (21%) |
| 15 | (4%) |



(その他のコメント)

保護者の負担を軽減して欲しい(運動会などの行事を減らす等)	1	
英語でコミュニケーションできる施設を個別に設置する	1	
子供のモチベーションが低くいつも勉強が嫌い・面倒と言っている。勉強の大切さを教えて欲しい。	1	
物を大切にする事、無駄にしない事を教えて欲しい	1	
学校にかかる費用が高い(負担が大きい)	2	英語教育の促進・進展
母語(ハングル)の勉強	1	イジメが酷い、イジメ問題の改善
漢字の使い方の補修	1	記載なし

* 日本の小・中学校への要望としては、「重要な連絡は翻訳やふりがなをつける」が多かった。

ある程度日本語が読み書きできる保護者でも、通知の内容によっては読解が困難な場合があるようである。

安心して日本の学校に通わせることができるよう、重要事項は「ふりがな付き」や「やさしい日本語」にする等の取組が求められている。

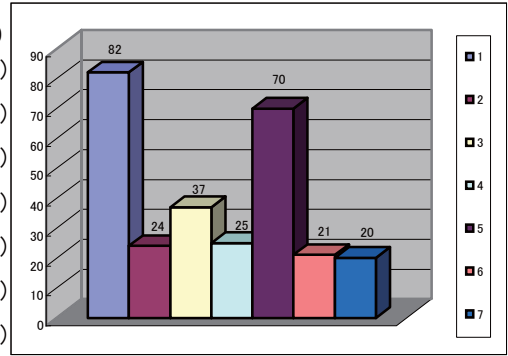
③-6 子供の教育で心配なこと・困っていること

(MA)

1. 高校や大学への進学
2. 学校生活への不応応(友達ができない等)
3. 教師と親とのコミュニケーション不足
4. 勉強が遅れている(日本語能力が不十分)
5. 学費など経済的な問題
6. 保護者同士の交流が少ない
7. その他

(回答数) n=279

82 (29%)
 24 (9%)
 37 (13%)
 25 (9%)
 70 (25%)
 21 (8%)
 20 (7%)



(その他のコメント)

政府に認可された良心的料金のインターナショナルスクールが早急に必要(幼稚園~高校、特に中等部)	12
今は授業が理解でき成績も良いので問題ないが、心配なのは問題がおきた時。息子には日本語もポルトガル語もきちんとできない「中途半端な外国人」になってほしくない。そうなった場合、息子の将来が心配。	1
国際的な教育の欠如	1
中学生から試験が多すぎる	1
日本人の意識が外国人に対してまだ排他的	1
困った事や心配事はない	1
いろいろな言語を覚えるのは難しい	1
記載なし	2

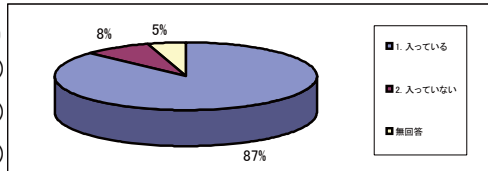
④ 保険・医療・年金

④-1 健康保険に入っていますか？

(SA)

- 1. 入っている
- 2. 入っていない
- 無回答

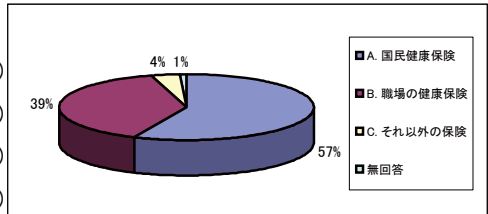
(回答数) N=650
566 (87%)
53 (8%)
31 (5%)



1. 入っている → (保険の種類)

- (SA-M) A. 国民健康保険
 B. 職場の健康保険
 C. それ以外の保険
 無回答

n=574
326 (57%)
223 (39%)
21 (4%)
4 (1%)



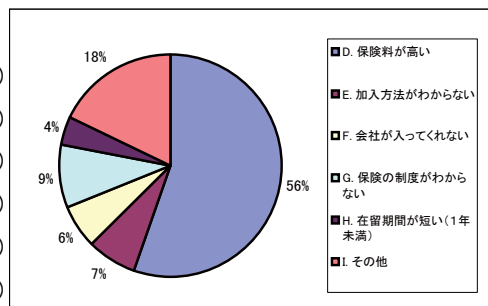
(上記以外の保険の種類)

個人保険、生命保険・医療保険	6	配偶者の保険(夫の健康保険)	6
母国の健康保険(海外対応のもの)	1	健康総合保険	1
家族全員を含む健康保険・共済組合	1	記載なし	5
Insurance for foreign teachers	1		

2. 入っていない → (理由)

- (MA) D. 保険料が高い
 E. 加入方法がわからない
 F. 会社が入ってくれない
 G. 保険の制度がわからない
 H. 在留期間が短い(1年未満)
 I. その他
 (その他の理由)

n=96
53 (56%)
7 (7%)
6 (6%)
9 (9%)
4 (4%)
17 (18%)



生活保護(支援給付)受給	5	臨時の仕事・アルバイトだから	2
失業中	2	保険に入るお金が無い	1
帰国者・中国帰国者の配偶者	2	給付金と妻の年金で生活しているため	1
まだ来日したばかり	1	記載なし	3

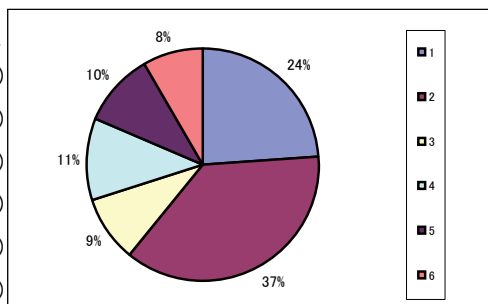
* 健康保険に「1.入っている」と答えた566名のうち、8名が加入している保険の種類について複数回答している。健康保険と、任意の生命保険・医療保険の違いを正しく理解していない人もいと考えられる。「2.入っていない」理由としては、「保険料が高い」が最も多い。

④-2 健康診断を受けたことがありますか？

(SA-M)

- 1. 市や町の健康診断を受けている
- 2. 会社の健康診断を受けている
- 3. 日程や場所は知ってたが受けていない
- 4. 健康診断について全然知らなかった
- 5. その他
- 無回答

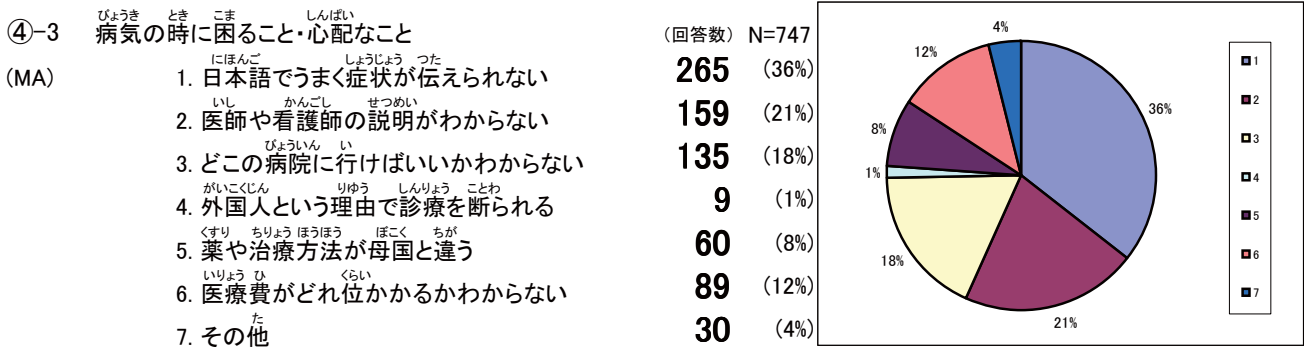
(回答数) N=674
161 (24%)
249 (37%)
61 (9%)
77 (11%)
70 (10%)
56 (8%)



(その他のコメント)

学校(大学)の健診	33	受けた事が無い	8
母国で受けた(来日前に受けた)	4	時間がない	1
今後自分で受ける(近いうちに受ける予定)	2	健診に関するお知らせ等、連絡がない	2
受診したいがどこでできるかわからない	1	健康診断について英語の情報が無い	1
必要な時に病院で診断してもらう	1	健康診断はプライベートが無い	1
受けたことがあるが詳細はわからない	1	病院で検査、特別健診	2
前の会社で受けた、5年前に受けた	2	記載なし	5
個人で受けている(自分で病院を予約して受ける、簡単な自費検査、日常検査)			6

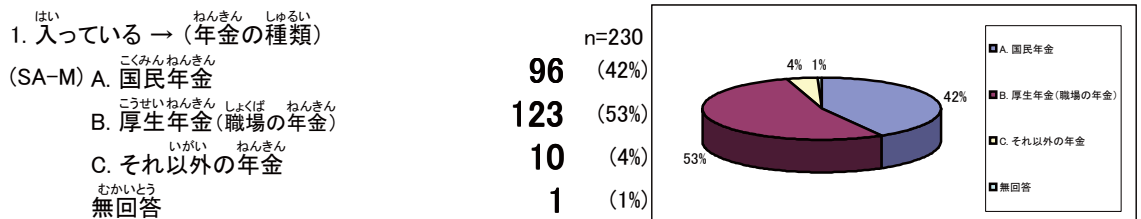
* 「健康診断について全然知らなかった」と答えた77名は、出身国、仕事、居住地にも大きな偏りは無い。
「日程や場所は知っていたが受けていない」と答えた人や「無回答」の人も含めて、これらの人々に対して今後周知方法の検討と健康診断の必要性の理解促進が必要だと思われる。



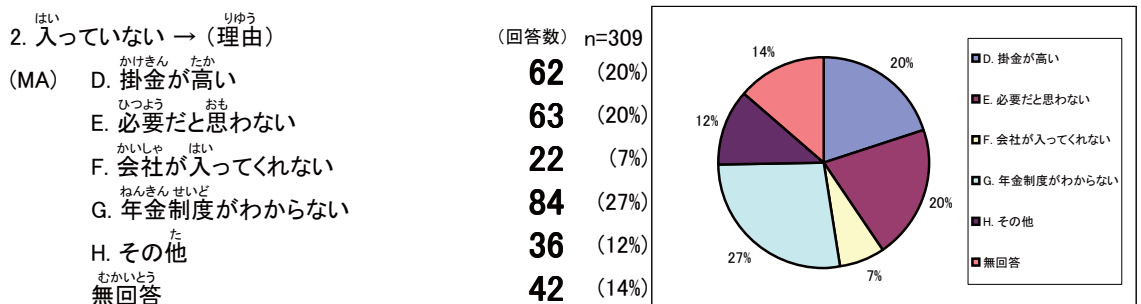
(その他のコメント)

英語が話せる医者が必要	2	日本の医療システムの機能不全	1
病院の待ち時間が長く診療時間が短い	1	アレルギーがある	1
待つ時間が長い、それに治療期間も長い	1	特に問題や心配事はない	4
母国ではないので不安な事もある	1	子供達が日本語ができるので心配事は無い	1
日本に家族がいないことが不安	1	子供の面倒を見てくれる所がない	1
差別がある	1	自営業なので収入が減ってしまう	1
婦人科医が男性という事になかなか慣れない	1	記載なし	7
病気になった時の治療費や支払いや家計が心配			3
日常会話はわかるので一人でも何とかできるが、医療に関しては少し解るぐらいでは足りない。医師や看護師の簡単な説明はわかるが、難しい内容だとあまり理解できないと思う。			3

* 病気の時に困ること・心配なこととして、「日本語でうまく症状が伝えられない」「医師や看護師の説明がわからない」が多かった。医療通訳ボランティアの必要性を認識させられる結果であるが、命にかかわることであるため、制度の確立には課題があるのが現状である。



夫の会社の年金	2	記載なし	7
minor(?)	1		



(その他の理由)

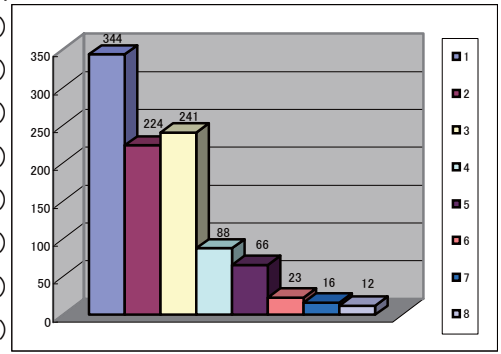
20歳未満	2	仕事をしていないから(失業中)	2
まだ若いから	3	生活保護受給(配偶者が支援給付受給)	2
学生だから	9	年金受給者	1
来日したばかり、日本に住むのは一時的	2	中国帰国者の配偶者	1
アルバイトだから(常勤の仕事がない)	2	高齢なので加入できない	2
経済的に余裕がない	2	夫に任せている	1
関係ない	1	記載なし	3
ブラジルでは義務で給料から引かれる	1		
満期になる頃には年金の恩恵が得られなくなると聞いた。それなのに誰が年金に加入しますか？			1
国民年金の重要性について(夫から)十分な説明が無かったため入らなかった。必要だと思うので知人には入るよう勧めている。			1

- * 年金に「1.入っている」と答えた225名のうち、5名が加入している年金の種類について複数回答している。
 「2.入っていない」人は41%と多く、加入していない理由としては「G.年金制度がわからない」という人が最も多い。
 「3.よくわからない」や「無回答」の人も多い。
 外国人住民に日本の年金制度や必要性をわかりやすく説明し、理解・納得した上で加入する方向に繋げていくことが必要と思われる。

⑤-1 困ったことや心配なことを誰に相談しますか？

(回答数) N=1014

- (MA)
1. 家族や親戚 **344** (34%)
 2. 同国の友人・知人 **224** (22%)
 3. 日本人の友人・知人 **241** (24%)
 4. 職場の上司や同僚 **88** (9%)
 5. 学校の先生 **66** (7%)
 6. 公共の外国人相談窓口 **23** (2%)
 7. NPOやボランティアなど民間組織 **16** (2%)
 8. その他 **12** (1%)



(その他の理由)

通訳	2	インターネット	2
市役所	1	子供の事はヘルスセンターに相談	1
派遣会社	1	記載なし	4
自分で解決している	1		

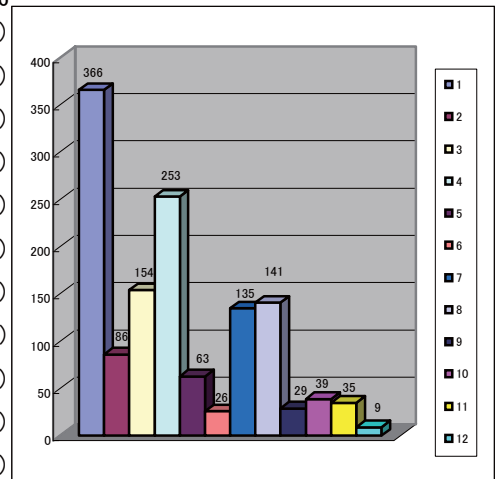
『相談者』・出身国内訳

	ブラジル		中国		韓国・朝鮮		フィリピン		ペルー		タイ		その他	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
家族・親戚	89	30.2%	115	38.9%	34	31.2%	28	46.7%	34	55.7%	13	27.7%	31	21.2%
同国の友人・知人	59	20.0%	68	23.0%	31	28.4%	9	15.0%	7	11.5%	12	25.5%	38	26.0%
日本の友人・知人	76	25.8%	59	19.9%	29	26.6%	17	28.3%	15	24.6%	10	21.3%	35	24.0%
職場の上司・同僚	37	12.5%	11	3.7%	9	8.3%	1	1.7%	2	3.3%	4	8.5%	24	16.4%
学校の先生	5	1.7%	36	12.2%	2	1.8%	2	3.3%	1	1.6%	6	12.8%	14	9.6%
外国人相談窓口	16	5.4%	4	1.4%	0	0.0%	1	1.7%	1	1.6%	1	2.1%	0	0.0%
NPO等民間組織	8	2.7%	2	0.7%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.1%	4	2.7%
その他	5	1.7%	1	0.3%	3	2.8%	2	3.3%	1	1.6%	0	0.0%	0	0.0%

⑤-2 生活に必要な情報はどのように集めていますか？

(回答数) N=1336

- (MA)
1. 日本のテレビやラジオ **366** (27%)
 2. 日本語の新聞や雑誌など **86** (6%)
 3. 母語の新聞や雑誌など **154** (12%)
 4. インターネットやメールマガジン **253** (19%)
 5. 携帯のサイト **63** (5%)
 6. 県や市町村のホームページ **26** (2%)
 7. 同国出身者によるネットワーク **135** (10%)
 8. 学校や職場 **141** (11%)
 9. 市町村の窓口 **29** (2%)
 10. 市町村の広報誌・回覧板など **39** (3%)
 11. 外国人が集まる食材店やレストラン **35** (3%)
 12. その他 **9** (1%)



(その他の情報源)

友達(日本の友人)	4	ネット(中国のネットアドレスを利用)	2
教会	1	母国のニュース	1
夫に相談	1		

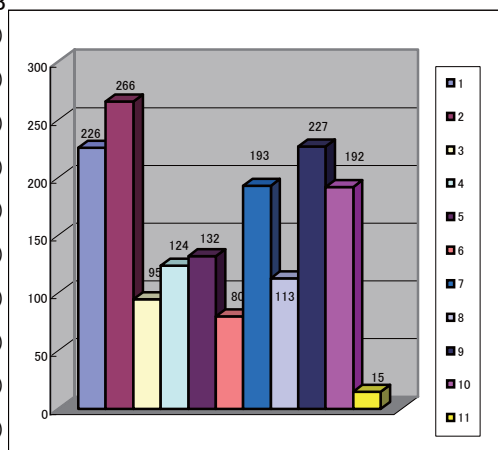
『情報源』・出身国内訳

	ブラジル		中国		韓国・朝鮮		フィリピン		ペルー		タイ		その他	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
日本のテレビラジオ	101	24.6%	109	27.9%	54	34.6%	30	44.8%	31	34.1%	15	31.3%	26	14.9%
日本語の新聞雑誌	15	3.7%	43	11.0%	15	9.6%	0	0.0%	2	2.2%	3	6.3%	8	4.6%
母語の新聞・雑誌	71	17.3%	38	9.7%	10	6.4%	4	6.0%	13	14.3%	5	10.4%	13	7.5%
ネット&メルマガ	67	16.3%	70	17.9%	36	23.1%	12	17.9%	16	17.6%	7	14.6%	45	25.9%
携帯サイト	20	4.9%	24	6.2%	3	1.9%	3	4.5%	1	1.1%	2	4.2%	10	5.7%
ホームページ	13	3.2%	1	0.3%	4	2.6%	0	0.0%	1	1.1%	2	4.2%	5	2.9%
同国ネットワーク	37	9.0%	38	9.7%	11	7.1%	7	10.4%	9	9.9%	1	2.1%	32	18.4%
学校・職場	49	12.0%	44	11.3%	10	6.4%	4	6.0%	7	7.7%	5	10.4%	22	12.6%
市町村窓口	11	2.7%	6	1.5%	1	0.6%	3	4.5%	3	3.3%	2	4.2%	3	1.7%
広報誌・回覧版	9	2.2%	12	3.1%	7	4.5%	2	3.0%	3	3.3%	2	4.2%	4	2.3%
食材店・レストラン	16	3.9%	1	0.3%	3	1.9%	1	1.5%	5	5.5%	4	8.3%	5	2.9%
その他	1	0.2%	4	1.0%	2	1.3%	1	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%

* 生活に必要な情報を得る方法として、回答者の半数以上→366名が「日本のテレビやラジオ」を選択している。但しこの中には、②-1の日本語スキル『聞く力』で、「1.ほとんど聞き取れない」(11名)、「2.簡単な挨拶や単語は聞き取れる」(54名)を選択した人もいたため、情報内容やテレビ・ラジオのスピードによっては、十分に理解できていないケースもあると考えられる。

また「インターネットやメールマガジン」から情報を得ていると回答した人は253名と比較的多いが、⑥-3において「県や国際交流協会が発信した情報を見たことがある」と回答した人は204名に留まるため、山梨県内発信の情報ではなく、多様なサイトやメルマガを活用していると考えられる。

- ⑤-3 生活に必要な情報としてどんなものを希望しますか？ (回答数) N=1663
- (MA)
- 1. 医療施設や救急に関する情報 **226** (14%)
 - 2. 事故や災害など緊急時の対応について **266** (16%)
 - 3. 公共の交通機関についての情報 **95** (6%)
 - 4. 通訳や翻訳のボランティアについて **124** (7%)
 - 5. 地域の行事やイベントについて **132** (8%)
 - 6. ごみの出し方について **80** (5%)
 - 7. 保険や税金や年金に関する情報 **193** (12%)
 - 8. 育児や教育、学校に関する情報 **113** (7%)
 - 9. 就職や雇用に関する情報 **227** (14%)
 - 10. 外国人をサポートする組織・団体情報 **192** (12%)
 - 11. その他 **15** (1%)



(その他の希望情報)

講座・授業の案内	1	地震の情報	1
医療機関に英語の通訳がない	2	頑張っ探せば教えてくれる所があると思う	1
労働時間に関するわかりやすい情報と説明	1	記載なし	8
中央市のManaka(ポルトガル語新聞)で(回答項目1から10の詳細の)説明をして欲しい。			1

* 生活に必要な情報として、「事故や災害など緊急時の対応について」(266名)、続いて「就職や雇用に関する情報」(227名)、「医療施設や救急に関する情報」(226名)の順に希望が多い。「外国人をサポートする組織・団体情報」についてもかなりの要望がある。必要な情報を必要な際に入手できるよう、その所在を外国人にわかりやすく伝えるとともに、内容を理解できるように説明していくことが望まれる。

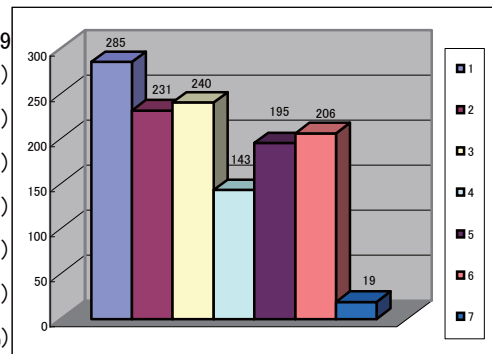
⑤-4 行政(県や市町村)に行っても欲しいサービスは？

(MA)

1. 重要な文書などの多言語化
2. 外国語対応が可能な職員・通訳の配置
3. 外国人のための相談窓口の充実
4. 公共施設の案内表記の多言語化
5. 日本語学習支援
6. 地域住民との交流行事等の開催
7. その他

(回答数) N=1319

285 (22%)
231 (18%)
240 (18%)
143 (11%)
195 (15%)
206 (16%)
19 (1%)



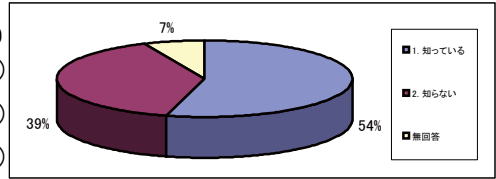
(その他の要望)

就職支援・仕事の紹介	2	差別をしないで欲しい	1
英語学校(中学)の設置・英語教育	3	外国人にも親切に対応して欲しい	1
ローカルニュースの配信	1	記載なし	6
外国人の貧困を改善して欲しい(例:公営住宅の入居を増強)			1
無料で行われる教室などの情報を、多言語で出して欲しい			1
仕事を探す時の情報提供(どこに行っても誰に相談したらいいのか等)			1
領事館と協力し、書類の手続き等の仲介業務を行って欲しい			1
重要情報のアナウンスや緊急連絡や警告システムなど、市役所からの放送は日本語の後英語でも行ってほしい			1

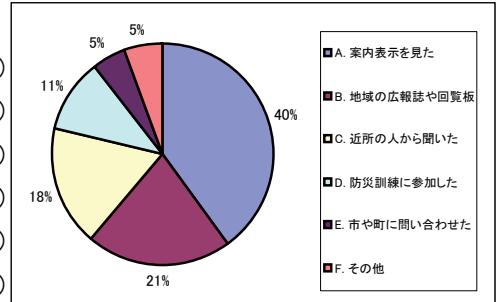
* 「重要な文書などの多言語化」、「外国人のための相談窓口の充実」、「外国語対応が可能な職員・通訳の配置」に次いで、「地域住民との交流行事等の開催」を希望する人が多く、災害等緊急時の地域での円滑な協力体制構築のためにも、日頃の交流機会の充実が望まれる。

⑥ 防災関連

- ⑥-1 地震や台風の際の地域の避難場所を知っていますか？ (回答数) N=650
- (SA) 1. 知っている **352** (54%)
2. 知らない **255** (39%)
- 無回答 **43** (7%)



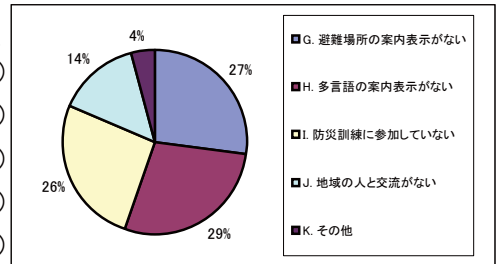
1. 知っている → (どこから情報を得たのか) n=439
- (MA) A. 案内表示を見た **175** (40%)
- B. 地域の広報誌や回覧板 **93** (21%)
- C. 近所の人から聞いた **77** (18%)
- D. 防災訓練に参加した **48** (11%)
- E. 市や町に問い合わせた **22** (5%)
- F. その他 **24** (5%)



(その他の情報源)

学校で聞いた	8	TV	4
友人・知人から聞いた	2	インターネット	1
会社のスタッフから聞いた	1	防災関連情報	1
プライベートチューター	1	記載なし	2
家族から聞いた(夫・子供からの情報)			4

2. 知らない → (理由) n=432
- (MA) G. 避難場所の案内表示がない **117** (27%)
- H. 多言語の案内表示がない **122** (29%)
- I. 防災訓練に参加していない **113** (26%)
- J. 地域の人と交流がない **62** (14%)
- K. その他 **18** (4%)



(その他の理由)

情報不足(避難場所に関する情報が無い)	5	よくわからない、難しい	2
引越しをしたばかり	3	記載なし	5
避難場所があることさえ知らなかった	1		
日本に地震や台風の(本当の)避難場所がありますか?			1
地方自治体は避難所に関するあらゆる書面の情報を送るべき。特に知識に制限のある外国人には全ての個人宅や家族に送るべき			1

* 地域の避難場所を知らないと回答した人は255名で全体の約4割を占める。

知らない理由としては、「H.多言語の案内表示がない」(29%)、「G.避難場所の案内表示がない」(27%)の順に多く、市町村等には多言語の案内表示の設置等により、避難場所を周知する努力が求められている。

『避難場所』(知らない理由)・出身国内訳

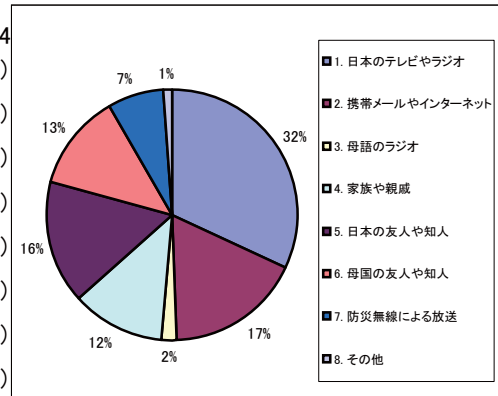
	ブラジル		中国		韓国・朝鮮		フィリピン		ペルー		タイ		その他	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
案内表示が無い	44	23.2%	27	14.4%	9	11.7%	7	14.3%	9	20.0%	2	9.1%	19	23.8%
多言語表示が無い	47	24.7%	17	9.1%	8	10.4%	7	14.3%	16	35.6%	4	18.2%	23	28.8%
防災訓練に出てない	42	22.1%	34	18.2%	4	5.2%	2	4.1%	3	6.7%	4	18.2%	24	30.0%
地域との交流が無い	26	13.7%	17	9.1%	6	7.8%	4	8.2%	4	8.9%	1	4.5%	4	5.0%

⑥-2 緊急時の情報はどのように入手していますか？

(MA)

1. 日本のテレビやラジオ	403	(32%)
2. 携帯メールやインターネット	221	(17%)
3. 母語のラジオ	26	(2%)
4. 家族や親戚	151	(12%)
5. 日本の友人や知人	199	(16%)
6. 母国の友人や知人	158	(13%)
7. 防災無線による放送	91	(7%)
8. その他	15	(1%)

(回答数) N=1264



(その他の情報源)

会社(会社のスタッフから聞いた)	4	防災無線と消防署	1
家のオーナー(大家)	2	わからない(来日してまだ4ヶ月)	1
母国出身(日本在住)の友人	3	記載なし	2
母語のテレビ番組	1		
防災無線のアナウンスは、エコーがかかっていて何を言っているのかわからない			1

* 緊急情報の入手方法も、⑤-2の生活必要情報の入手方法と同様に、「1.日本のテレビやラジオ」が多かった。

しかし⑤-2同様、日本語能力の問題を考慮すると、テレビやラジオのアナウンスから専門用語を含む災害関連の情報を十分に理解するのが困難なケースもあると思われる。

また「2.携帯メールやインターネット」を利用している人も多いため、これらを有効活用していくことも今後の課題である。

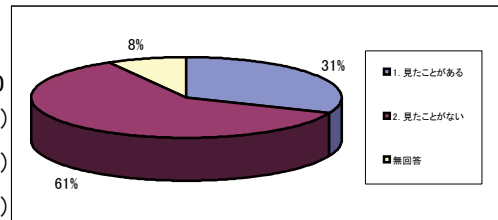
⑥-3 東日本大震災以降、県や国際交流協会が発信した

(SA)

情報を見ましたか？

1. 見たことがある	204	(31%)
2. 見たことがない	391	(61%)
無回答	55	(8%)

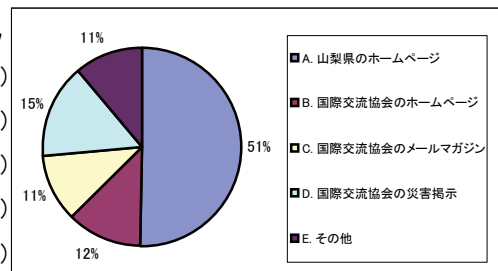
(回答数) N=650



1. 見たことがある → (何をみましたか？)

(MA) A. 山梨県のホームページ	114	(51%)
B. 国際交流協会のホームページ	28	(12%)
C. 国際交流協会のメールマガジン	25	(11%)
D. 国際交流協会の災害掲示	35	(15%)
E. その他	25	(11%)

n=227



(その他のコメント)

テレビ(TV News)	12	中央市ホームページ	1
地域情報	1	学校のホームページ	1
携帯メール	1	やまなし貴金属韓人協会	1
ネット	1	(情報発信場所に関する)情報をもらいたい	1
スピーカー(防災無線)	1	記載なし	5

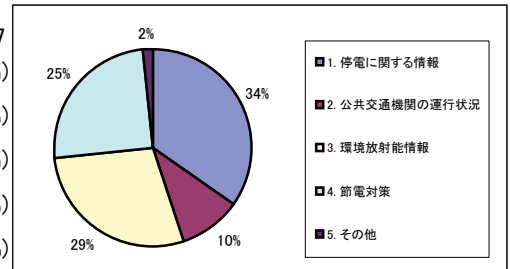
* 震災後に山梨県や国際交流協会のホームページを通して災害関連情報を見た人は、31%に留まっている。

日頃からの周知が必要と思われる。

⑥-4 山梨県の災害関連情報で役に立ったものは何ですか？ (回答数) N=847

(MA)

- 1. 停電に関する情報 **293** (34%)
- 2. 公共交通機関の運行状況 **87** (10%)
- 3. 環境放射能情報 **242** (29%)
- 4. 節電対策 **212** (25%)
- 5. その他 **13** (2%)



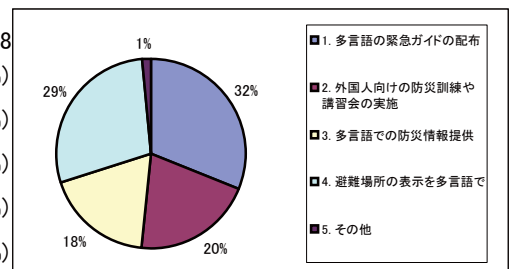
(その他の情報)

講座・講演	1	日本にいるフィリピンの人達の情報が欲しい	1
TV	1	(そのような)情報がある事も知らなかった	1
緊急時の避難用シェルター・センター	1	記載なし	6
無い	1		
自分が住む地域の水源や、水を確保する場所や方法			1

⑥-5 防災に関する事で何か要望はありますか？

(MA)

- 1. 多言語の緊急ガイドの配布 **339** (32%)
- 2. 外国人向けの防災訓練や講習会の実施 **223** (20%)
- 3. 多言語での防災情報提供 **200** (18%)
- 4. 避難場所の表示を多言語で **311** (29%)
- 5. その他 **15** (1%)



(その他の要望)

外国人が日本語を学ぼう	1	無い	1
移動手段がよくわからない	1	記載なし	6
近所の災害警報を聞き取るのは難しい(音が反響する為)			1
必要ない→必要とする者が日本語を学ぶべき、多言語も重要だが、まず外国人が日本語を学ぶことが重要			1
英語は国際言語、外国人住民にとって様々な情報が英語に翻訳されるととても助かるのでお願いします			1
市役所での登録の際、知っておくべき全ての情報をまとめて入手できると良い			1
Manaka(中央市発行のポルトガル語新聞)または雑誌等で(防災に関する詳しい)説明をする事			1
自治体国際化協会(クレア)やManakaに震災ガイドの様な情報が載っていたが、定期的に出す事が必要			1

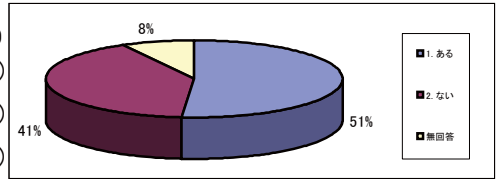
* 防災に関する要望として、回答者650人の50%以上の方が「1.多言語の緊急ガイドの配布」を希望している。
また⑥-1と関連するが、「4.避難場所の表示を多言語で」等、多言語での案内表示や情報提供が求められている。

ちいき かつどう
⑦ 地域活動

⑦-1 ちいき おこな かつどう さんか
地域で行っている活動に参加したことがありますか？

- (SA) 1. ある
2. ない
むかいどう
無回答

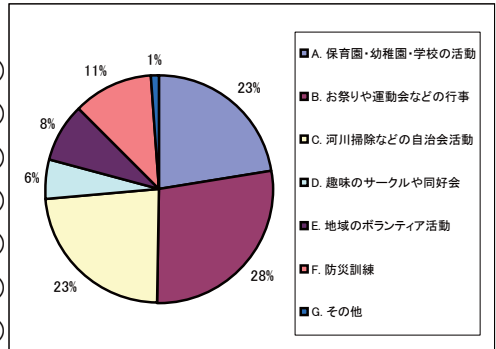
(回答数) N=650
334 (51%)
264 (41%)
52 (8%)



1. ある → (さんか かつどう ないよう
参加した活動の内容)

- (MA) A. 保育園・幼稚園・学校の活動
B. お祭りや運動会などの行事
C. 河川掃除などの自治会活動
D. 趣味のサークルや同好会
E. 地域のボランティア活動
F. 防災訓練
G. その他

n=646
146 (23%)
179 (28%)
150 (23%)
36 (6%)
54 (8%)
73 (11%)
8 (1%)



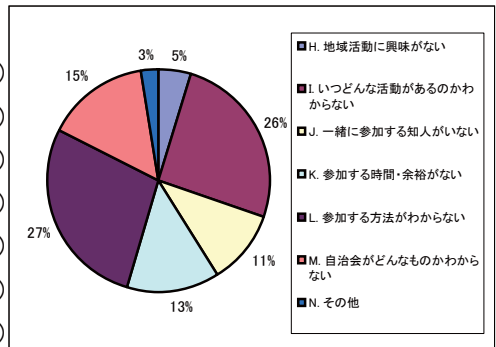
(その他の活動)

地域のイベント	2	育児教室	1
国際センターのイベント等	1	団地の清掃作業	1
他の地域のサークルや同好会	1	記載なし	2

2. ない → (りゆう
理由)

- (MA) H. 地域活動に興味がない
I. いったんな活動があるのかわからない
J. 一緒に参加する知人がいない
K. 参加する時間・余裕がない
L. 参加する方法がわからない
M. 自治会がどんなものかわからない
N. その他

n=431
20 (5%)
111 (26%)
46 (11%)
58 (13%)
121 (27%)
64 (15%)
11 (3%)



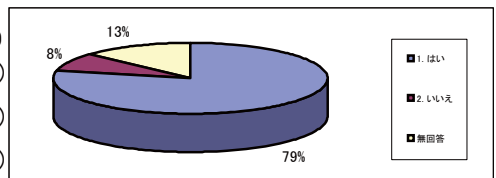
(その他の理由)

通訳がないと難しい	1	まだ来日したばかりだから	2
地域の組が外国人を入れてくれない	1	夫に任せている	1
時間が合わない	1	参加したいと思っていた	1
仕事の時間帯がシフトによって変わる為	1	記載なし	3

⑦-2 こんご ちいき かつどう さんか おも
今後、地域活動に参加したいと思いますか？

- (SA) 1. はい
2. いいえ
むかいどう
無回答

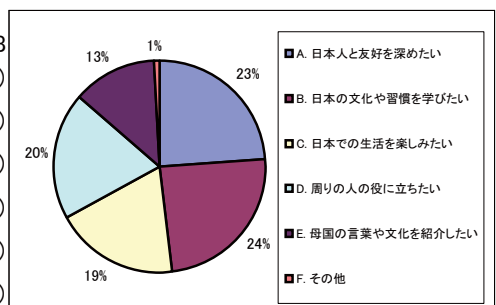
(回答数) N=650
511 (79%)
55 (8%)
84 (13%)



1. はい → (ちいき かつどう とお
地域活動を通してしたいことは？)

- (MA) A. 日本人と友好を深めたい
B. 日本の文化や習慣を学びたい
C. 日本での生活を楽しまたい
D. 周りの人の役に立ちたい
E. 母国の言葉や文化を紹介したい
F. その他

n=1218
292 (23%)
294 (24%)
229 (19%)
238 (20%)
155 (13%)
10 (1%)



(その他のコメント)

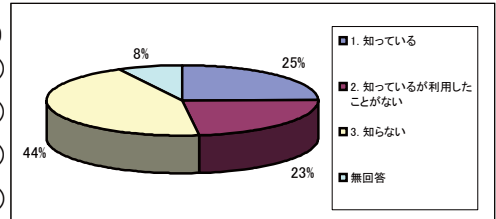
地方のコミュニティの為にボランティア活動	1	義務でもある為	1
参加したいが時間がない	2	記載なし	5
都合が合えば参加したい	1		

- * 地域活動に参加した事がないと回答した人が約4割いるが、今後参加したいと回答した人は8割近くに上る。地域住民との交流は生活を豊かにするだけでなく、災害時に必要となる信頼関係構築のためにも重要であるため、多くの外国人住民が参加しやすい活動の場を増やすとともに、周知方法について検討していくことが必要である。また「周りの人の役に立ちたい」という要望も多いことから、外国人住民の社会参加を促進していくことも必要と思われる。

⑧ その他

⑧-1 山梨県立国際交流センターを知っていますか？

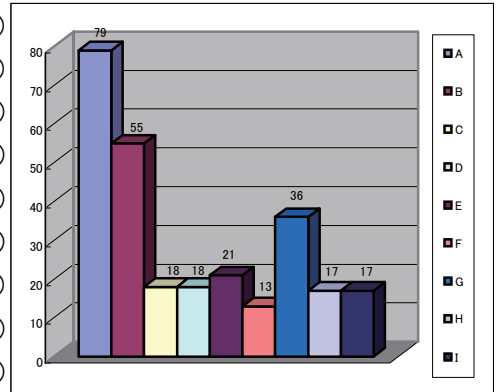
(SA)	回答数	N=650
1. 知っている	161	(25%)
2. 知っているが利用したことがない	151	(23%)
3. 知らない	288	(44%)
無回答	50	(8%)



1. 知っている → (参加したり見たことがあるもの)

- (MA)
- A. 日本語講座(山梨県国際交流協会主催)
 - B. 外国人なんでも相談
 - C. 災害時通訳ボランティアセミナー
 - D. 外国人住民のための「避難所体験」
 - E. 7カ国語版「こども救急ガイド」
 - F. 7カ国語版「妊娠・出産ガイド」
 - G. 多言語ニューズレター『Yamanashi』
 - H. メールマガジン(YIAからのご案内)
 - I. その他

回答数	n=274
79	(29%)
55	(20%)
18	(7%)
18	(7%)
21	(8%)
13	(5%)
36	(13%)
17	(6%)
17	(6%)



(その他のコメント)

イベント・パーティー等に参加	5	友達・学校の先生が紹介してくれた	2
ミーティングや交流会に参加	4	山梨台湾総会の大会で知った	2
インターネットや貸出書籍の利用	2	記載なし	1
医療通訳セミナー	1		

* 山梨県立国際交流センターの認知度・利用度は、「3.知らない」が44%、「2.知っているが利用したことがない」が23%と全体的に低い。

知っていると回答した人の中では、日本語講座、外国人なんでも相談の認知率が高い結果となっているが、山梨県の国際交流や多文化共生等の拠点として多くの外国人住民の拠り所となるためにも、国際交流センター及びその事業を効果的にPRしていく必要がある。

* 自由記入欄 ～意見や要望など自由に書いてください(母語可能)～

(ブラジル)

- ・山梨での生活には感謝している。しかし、高校進学を希望する学生をもっとサポートし、チャンスを与えて欲しい。
- ・市や町でアナウンスされる防災無線の情報のうち、重要なものはポルトガル語で放送して欲しい。
- ・一番の問題は住宅。市町村営のアパートは結婚していない人は入れない。私は今結婚していないが娘が2人いて5万円のアパートに住んでいる。仕事をしているのは夫だけなので家賃は高すぎる。知人で家族もいないのにいい加減な方法で団地のアパートに住んでいる人を何人も知っている。まじめに手順を踏んで手続きをしている人が入居できないなんて納得できない。学校の諸費用も、もっと安くするべき。私は今仕事をしていません。就職は難しく生活費も高いので、子どもの託児所の費用も払えない。
- ・日本語の授業を受けたい。
- ・防災無線の放送を、わかりやすい日本語又はポルトガル語でやってほしい。
- ・公立学校で夜間の日本語教室をやってほしい。
- ・子供にサッカーを教えているため、子供達のチームが活躍できる場がもっとあればと思う。チームをスポーツ少年団にしたいが、外国人の人数制限などがあり難しい。また日本語の指導者試験に合格しないと、正式な指導者としても認められない。
- ・調査に協力でき嬉しく思う。このような取り組みを南アルプスや田富の方にも広く知らせるべき。あちらの方が活発に活動しているという印象を受ける。
- ・日本語を習うことは大切だと思うが、多くの人は時間や興味がなかつたりする。コミュニケーションはどんな場面でも役に立つので重要、言葉が通じないと何もはじまらない。
- ・山梨県の政府は、外国人と日本人の交流の場として、国際的なイベントをもっと開催すればいいと思う。
- ・子供たちがスポーツできる場所を増やして欲しい。
- ・大きい地震が来た時、外国人の多い地域では英語・ポルトガル語・スペイン語等の外国語で情報を放送して欲しい。それ以外の地域に住んでいる外国人は日本人としか交流を持っていない人達が多いので、外国人の多い地域だけでいいと思う。これは以前から出ている意見。ありがとうございます！
- ・(このような)外国人とのコミュニケーションのきっかけを作ってくれてありがとう！
- ・国民保険は高い。高いし使わない時も何も戻してもらえない。また国民保険は夫の収入を基準に決められるが、妻も仕事に出ていて保険も妻がつかうのに何故収入の多い夫が基準となるのかわからない。また息子の日本の学校にかかるお金も高い。
- ・学校の月謝を安くしたり給食を無料にする等、学校へ通うための支援をお願いしたい。(2名)
- ・私は日本が大好き。17才で来日してから働き続け、日本人の友人が何人も出来、妻に出会い結婚して子供が2人生まれたこの国で大人になった。今の自分があるのは日本のお陰。出来ればずっと日本で暮らしたいと思うが、両親はブラジルにいたのでいつかは介護のために母国へ帰る事になると思う。
- ・現在甲府に住んでいる。これまで様々な所に住んだが、残念ながら甲府の人は外国人に対して偏見を持っているように思う。特に日本の学校に通っている息子を見るとそう思う。2人の子供は(友達の)親が許可しないため(友達の)家に入れないとされた。これは人種差別だ。信頼できない外国人、ブラジル人もいると思うが、残念ながらそういう人の行動のせいで今の子供たちが損をしている。全員が悪人ではないので、日本人に外国人のいい所も見て欲しい。
- ・私たちも苦勞して仕事をして多くの税金を納めているので、色々な部分でもっと日本政府に支援してもらいたい。
- ・①平日の夜にもっと外国人向けの日本語教室を行うべき。②病院に通訳がいるといい。③救急センター等で外国人を診察する時は、できるだけ簡単な(わかりやすい)日本語を話して欲しい。
- ・私にとって支援とは情報提供。私たち外国人は会議等に参加している時間が無いため、(YIA等の協会で)重要な情報ガイドをそれぞれの言語で提供して欲しい。
- ・YIAは外国人への情報提供に関しては大きく前進したと思う。足りないのは(外国人の)人々の行動。積極的に情報を探したり、様々な所に参加したり、役に立つ情報が多く載っているManaka新聞も読まない人が大勢いる。結局情報が足りないと言いながら、情報があるのに見落としている人が大勢いる。
- ・みんな同じように大変な思いをして働いているので、会社は男女に同じ給料を支払うべき(女性は男性以上に働いている)。ボーナスも日本人と同じであるべき。
- ・①税金を下げたい。②学校周辺の安全を強化して欲しい。
- ・毎年市役所で健康診断が行われるが、通訳がいてくれるといい。
- ・この調査に参加できて良かった。
- ・①私は車を運転しないため、バス等のような交通手段が足りないと思う。ショッピングモールに行くには、歩くかタクシーか遠いので誰かに送ってもらうしかない。②日本語で書かれた用紙に記入をするのは難しい。③日本では人との対話が難しい。
- ・市役所、病院、警察に通訳者がいない。

- ・残念ながら私達外国人は、まだ近所・工場・店・ショッピングモール・病院等で差別を受けている。多くの日本人は、まだ古い考えや習慣に縛られていると思う。新しい現実や考え方を受け入れ情報に敏感な人は、物の見方や考え方が違い外国人だけでなく周りの人々にも優しい。
- ・①災害等に関するポルトガル語の情報をもっとあってほしいと思う。②病院に付き添ってくれるボランティアをもっといればいい。プロの通訳者は高すぎる。
- ・昼間勤めている人のために、夜日本語教室が在ればいいと思う。
- ・ブラジル人同士が集まる機会をもっと必要だと思う。
- ・燃えないゴミを出す際、都合のいい時間帯に出せる場所がない。
- ・日本人は偽善者が多い。本当は外国人に対して差別意識を持っている。特に仕事場では「近代奴隷」の様に働かせられる。
- ・①情報が足りない。②交通手段を充実する。③ポルトガル語で運転免許証が取れるようにする。
- ・幾つかのお店に入ると、ブラジルの音楽を鳴らし始めるので嫌な思いがする。良くないことだし差別だと思う。
- ・私の住んでいる町(市川三郷町)の役場に通訳者がいるといい。ありがとうございます。
- ・私は文句一つない。逆に山梨に私たちを受入れてくれてありがとうと御礼を言いたい。山梨大好き。
- ・病院には通訳者が必要だと思う。私は一人で診療所へ言った事があるが、互いに思い違いをしていたようで予約をしたのに入っていないで一日無駄にしたことがある。
- ・銀行、病院、診療所などの重要な場所には通訳者が必要だと思う。
- ・多文化共生について考えてくれていることがわかり嬉しい。*意見①人同士のつながりが出来ない。個々の大きなイベント等を行う前にYIAと周りの市町村の国際交流協会のメンバー同士の交流を始めるべきだと思う。②国際交流協会でも日本で生まれた子供たちの日本国籍に関する問題に介入して欲しい。そうすることにより、日本が本当に多文化社会を作るために頑張っていることを示す事になると思う。
- ・国際交流協会の取り組みに感謝している。多文化社会のためにも協力したいと思う。提供されているサービス等に関する情報は、どうすれば教えてもらえるか？
- ・①緊急時に夜や週末等でも対応してくれる、近所の病院を教えて欲しい。②一番近い避難場所はどこですか。
- ・市役所、病院、学校に母国語で話ができる人を配置して欲しい。
- ・全ての場所に通訳者を配置する。
- ・工場では医療関係の情報が足りない。脳卒中等の緊急時にはどのように行動すべきか、またどこ行けばいいのか、誰に電話をすればいいのか知りたい(例えばどういう医師を探せばいいのか)。
- ・災害時の避難所に関する外国語のマニュアルが欲しい。南アルプス等、山梨県内はバスが少ないので不便。
- ・外国人のことを気にしてくれてありがとう。

(中国)

- ・私が住んでいる団地では、15歳～20歳位の少年が集まり、タバコを吸ったり所かまわず痰を吐いたり、勝手にごみを捨てたり、駐輪場で自転車を解体したり、モーターバイクで大きな騒音を出したりしているが、日本の警察は全く無関心だ。関係部署はその悪事を止めて、青少年の素養を高めて欲しい。
- ・青少年の素養の教育にもっと力を入れて欲しい。
- ・犬が店に入るなんて、環境に悪いし不衛生なので、禁止させるべきだ。
- ・今は男性の仕事を探すが難しい。(2名)
- ・中国人に対する雇用状況は厳しい。
- ・山梨県には放射能が無いことを望んでいる。
- ・東日本大震災後の憂いをできるだけ早く取り除いて欲しい。日本の政府は国民に真実を伝え、放射能の状況を遅れずに国民に知らせたい。この日本の国の発展と経済復興、一日も早く回復できることを望んでいる。
- ・結婚して来日したばかりで、日本語教室で学習中。
- ・いざとなったら焦らないように、外国人に保険方面の知識を教えた方がいいと思う。
- ・仕事を探す時、よく外人不要の待遇を受ける。アルバイトの募集をしているのに、外国人だとわかると手続きが面倒なので嫌だと言われる場合がある。仕事やアルバイトの情報をもっと提供して欲しい。
- ・もっと多くの人が英語が理解できたら、外国人、特に日本語を話すことができない人にとって、とても助けになると思う。
- ・外国人のいろいろなことに関心を持って欲しい。
- ・生活上の必要品の値段が上がらないで欲しい。
- ・もっと様々な活動に、日本人と共に参加したい。
- ・子供向きの中国語勉強の塾を作って欲しい。
- ・地元のイベントに参加する機会が欲しい。日本の文化や生活習慣をもっと知りたい。
- ・山梨県の国際交流がさらに深まること、一日も早く国際都市になれることを望んでいる。
- ・神様、日本を見守ってください！

- ・ 地元の日本人と交流したい。友達になりたい。
- ・ 外国人の留学生を雇うチャンスを増やしてほしい。
- ・ 外国人は日本語が上手ではないので、外国人向けの日本語教室を開催して欲しい。例えば職業教育とか・・・そうすれば就職のチャンスが増えるはず。
- ・ 初めて山梨に来た時周りに知り合いが少なく交流イベントも知らなくて苦しかった。外国人も参加できる多文化的なイベントを開催して欲しい。
- ・ 山梨県国際交流センターのイベント内容が知りたい。
- ・ 日本語をもっと勉強して、自由に日本人と話したい。
- ・ 日本語をもっと勉強したい。子供との交流を深めたい。普通の日本人とも交流したい。
- ・ 山梨県に6年間滞在しているが、山梨県国際交流センターのイベントは、参加したことが無いというより情報を知らなかった。今後は留学生への広報もお願いしたい。
- ・ さらに多くの国際文化交流活動があれば・・・
- ・ 日本語能力を上げて、日本人ともっと交流したい。
- ・ 山梨には外国人留学生が大勢いるが、勉強のストレスがあったり物価が高いため、日本人と交流する機会が少ない。中国人留学生は中国人と交際し、韓国人留学生は韓国人と交際しているのが実状。しかし日本に来たからには日本人と交流するべきだと思う。そうすれば留学生活も豊かになるし両国の民間交流もうまくいくと思う。そのようなイベントをもっと開催して欲しい。
- ・ 日本語の勉強を通して、日本の生活を楽しまたい。
- ・ 日本で豊かで多彩な留学生活を送りたい。日本の文化や風情をもっと知りたい。
- ・ 山梨県の政府への希望として、留学生への支援や便利になることをお願いしたい。
- ・ 日本に来て既に10年余り経ち、日本の生活にもだいたい慣れた。日本人の情熱と勤勉さには心を打たれた。山梨で暮らすことができ本当に嬉しい。
- ・ 山梨は本当に住みやすい所、大好き。
- ・ もっと国際交流をする機会と場所が欲しい。
- ・ 休みの日に日本語を勉強したい。
- ・ いい仕事が見つかるよう願っている。もし仕事が決まったら頑張る。
- ・ 日本、頑張れ！！

(韓国)

- ・ 外国人のための様々なインフォメーションは、わかりやすい母国語で聞きたい。
- ・ 子供が学校でイジメを受けた時、親の考え方等を詳しく説明できずとても悔しかった。その様な時に親の意見を代弁することのできる、日本語の完璧な相談者がいればいいと思った。
- ・ 就職相談及び仲介をお願いしたい。
- ・ 韓国の『敬老堂』ような福祉施設があるといい(高齢者の憩いの場→日本の公民館の様な施設に老人が集まって、情報交換をしたり趣味を楽しむ)。
- ・ 山梨(甲府)に住んでいる外国人のため、教育情報や大学入試情報が見られる所、また集まったり情報交換ができる所を作って欲しい。
- ・ 私は日本で出生した特別永住の韓国人。①～⑧の設問は項目に該当する「答」がないところが殆ど。新規定住者には良いと思うが・・・
- ・ ①永住権が必要。申請方法や過程などをわかりやすく、そして取りやすくして欲しい。②子供が皆成人したが、就職がすんなり決まって欲しい。外国人向けの就職情報を増やして欲しい。
- ・ ①日本で生活が長い甲府中心市街地が昔は活気が溢れていたが、今は廃れていて寂しい。行政・政府の政策が積極的でないし景気も良くない。②永住権が欲しい。
- ・ 該当しない設問が多い。
- ・ 外国人のために日本人の友達を紹介して、日本の文化を教えてください。

(フィリピン)

- ・ お願い→同国(フィリピン)の人達が集まって、交流したり友達を作ったりできるようなアクティビティ(イベント)の機会を作って欲しい。
- ・ 子供の学校からの連絡など、ふりがながなくてわからないことが多いので、無料で日本語と漢字の勉強ができるといい。
- ・ 止めてください！国籍が違うからといって、他の言語の人達を差別したり不当な扱いをしないで・・・(特に日本語をが喋れない人に対して)
- ・ 無料で日本語の勉強ができる場所を探している。提供(オファー)してもらえると嬉しい。
- ・ 甲府の入国管理局はとても厳しく(母国から家族が来日した際など)、滞在の延長を申請してもなかなか許可してくれない。東京の入国管理局では、きちんとした理由があれば3ヶ月の延長を簡単に認めてくれるが、子供がいると東京まで行くのは大変。甲府の入管も東京の入管と同じ基準で審査・許可をして欲しい。
- ・ 同じ心も頭も持った人間なのだから、外国人だからといってイジメや差別をしないで仲良くして欲しい。

- ・ 山梨に住む外国人のことを調査してくれて助かる。このアンケート内容を山梨県の上の人達がきちんと理解し役に立ててくれると嬉しい。YIAのスタッフに感謝、これからも頑張る！
- ・ ①13年間も家族と山梨で生活しているが、仕事が無い時どこに行っても誰に相談すればいいか等知らないことが多い。②子供の学校にかかる費用が高すぎる。③YIAのことをもっと知りたい。
- ・ 母子家庭なので、子供のためにも運転免許を取りたいが高すぎる。無料で取得できる制度があると嬉しい。
- ・ 県や市からの重要なお知らせは、日本語だけでなくわかりやすい言葉(英語等)で説明してくれると協力しやすい。
- ・ 日本は世界で最も発展した国の一つ。政府はきちんと政治を行い、税金は納められ、法律は守られているため、日本でのライフスタイルが他国と違うのは当然。政府全体で常に人権・福祉等を優先している。しかし言うまでもなく私たち外国籍住民は、このような社会の中での位置、権利、福祉手当、そして何を根拠に差別がないと言えるのか・・・と時々疑わしくなる。
一方、国際交流協会が行うこのような調査には感謝している。山梨は行政が地域サービス向上のために最善を尽くしているため、生活するに値する場所だと思う。山梨県の職員の方々には感謝している。これからも頑張ってください。
- ・ お願いしたいのは、①インフォメーション不足の改善、②仕事をしたくても探し方がわからない、③職場でも内容(詳細)がわからない等。このようなアンケートをしてくれてありがとう。
- ・ いろいろな国の外国人とコミュニケーションしたい。世界の平和を祈ってます！
- ・ 外国人に対する市や町からの情報が足りないため、コミュニケーションしづらい。
- ・ 外国人の仕事が無い、仕事が無くて困る。(2名)
- ・ 外国人にもう少し優しく接して欲しい。
- ・ 粗大ゴミの日が少ない(狭い家では大変)。
- ・ 外国人のニーズを重要視して欲しい。
- ・ 外国人だからといって見下したりしないで！同じ人間なのに！
- ・ 日本人とフィリピン人の繋がり(友好関係)がもっともっと良くなって欲しい。
- ・ このような調査をしてくれてありがとう。
- ・ 困ったことがあった時など、誰か相談できる人やわかってくれる人(弁護士や通訳)がいると嬉しい。
- ・ もしこの国で軽蔑されたり(人間関係で)厳しい立場に置かれた時は、きちんとサポートして欲しい。

(ペルー)

- ・ サッカーやバレー等のスポーツを通じて、もっと交流ができると思う(例えば大会を行うなど)。
- ・ 今住んでいる地域、または山梨県のイベント等の情報が欲しい。また地域のボランティア活動に参加してお手伝いしたいです。
- ・ 国民健康保険は高いけれど、政府からの支援を受けることは無い(年金)。社会的・精神的差別だと思う。
- ・ 山梨での母語(スペイン語)での支援を希望。
- ・ このような調査は必要であり、とても大切。
- ・ 居住ビザや税金等に関する情報が欲しい。現在債務を少しずつ払っているがなかなか払いきることができない。ありがとうございます。
- ・ 外国人のことを考え、日本での生活を住みやすく良くなってくれてありがとう。
- ・ 日本語を、安くまたは無料で学べる機会がもっとあればいい。
- ・ ①仕事を探している人をもっと支援して欲しい。②病院での山梨県在住の外国人への対応をもっと充実して欲しい。③勉強を続けたい子供達への支援をして欲しい。
- ・ ホームページ等においてもっと情報が欲しい。
- ・ この調査を通じて、外国籍住民の日常生活に関心を持って欲しい。
- ・ 子供が小さい時、助けが必要だった。
- ・ 外国籍の子供たちが学校でもっと支援が受けられ、医療があまり高くなく、そして外国人の仕事が無くならないことを望みます。
- ・ 子供が幼なかった時、多くの手助けが必要だった。

(タイ)

- ・ 私たち外国人のためにいろいろしてくれて感謝している。
- ・ 生活に関するアドバイスをしてくれる、タイ語がわかる人がいてくれると助かる。
- ・ ①生活に役立つ情報や、観光・交通などの説明をしてくれるアドバイザー(ガイド)がいると嬉しい。②山梨県内のタイに関するニュース(情報)を、時々タイ語で放送してくれると嬉しい。
- ・ 震災の時など、人から聞いた話ではどこまで本当かわからないので、きちんとした正確なニュースを知りたい。
- ・ 今回のアンケートは、勉強(テスト)の様で学生時代を思い出しながら真剣に考えて答えた。良かった事は、①タイ語を忘れない、②国際交流のきっかけとなる、③アンケートを通じて幾つかの情報を得た(防災訓練など)こと。一番嬉しかったのは、タイ語のアンケート用紙を作ってくれたこと！

(アメリカ)

- ・山梨にもDVや雇用乱用の犠牲者のための外国人向け非常シェルターがあるといい。
- ・私の日本語は流暢ではないが、私が外国人なので(県や市など)組織からの日本語の重要な情報が届かないことがある。もしこれらの情報をもらっていたら、私にも少しは理解できる。日本人居住者は私が手続き変更の時などに手違いがあると時々フラストレーションを表すが、それは私が何も通告されていないこと。日本語のみの情報でも、外国人にもきちんと配布するよう地方自治体に伝えて欲しい。

(イラン)

- ・YPIC(Young Professionals for International Cooperation【アメリカ国際連合協会のプログラムの1つ】のことと思われる)の活動、特に様々な場所でのイベントについてもっと知りたい。イベントに関する情報が早くわかれば是非参加したい。またYPICの影響力を、山梨県に住む外国人住民が選挙権を得るために活用することを提案したい。

(インド)

- ・山梨は住むには素敵な場所だが、車を持っていない人にとっては移動がとて困難だと思う。またインターナショナルスクールがあると外国人の住民が増えることに繋がるため、甲府にも作るべきだと思う。
- ・山梨県(甲府市)にはインターナショナルスクールが無い。
- ・①早急に認可された英語学校が必要。②日本国内での出来事に関して、県からの協力が必要。③山梨の免許機関は申請受付がとて失礼。個別に免許の申請をするのは問題ないが、外国人が運転に不適合であるかどうかは運転試験で決めるべき。申請手続き以外でも不要な問題を持ち出す(パスポートが有効であるのに受け入れない等)。
- ・①女性の雇用(パートタイム)は社会貢献になり、日本文化を学ぶこともできる。②インターナショナルスクールは、国際レベルを知る上でとても大切。
- ・至急甲府にインターナショナルスクールが必要。また職場でもっと多くの英語の情報が必要。
- ・私の子供は現在プライベートスクールに通っているが、そこは小学校レベルまでの学校。私は英語教育を行う高校を創る事を希望する。これは私達外国人にとって緊急の要望。なぜなら英語教育を受けさせるために出身国(インド)に帰ったり、別の場所(インターナショナルスクールのある県)に引っ越さなくてはならない。私達外国人のためにも政府に認可されたインターナショナルハイスクールが山梨に必要。
- ・私にはインドに子供がいる。なぜなら山梨にはインターナショナルスクールが無いから。子供達を日本の学校に行かせても、彼らが日本の仕事に就くのは難しい。従って私達にはインターナショナルスクールが必要である。
- ・私は甲府での生活をとても楽しんでいるが、私や周りの外国人社会の人々が直面している大きな問題は、英語教育の欠如。英語も私達の母国語ではないが国際的な言語になっているため、私は子供達に英語での教育を受けさせることにより、彼らが将来の拠点や職業を選択できるようにしたいと思っている。英語教育を行う小学校から高校のオープンを早急をお願いしたい。
- ・私達の一番の要望は、山梨にリーズナブルな金額の英語学校(幼稚園から高校まで)を創ること。(4名)
- ・認可されたインターナショナルスクールのオープンを検討して欲しい。そうすれば子供達は国際的に通用する英語が学べる。(4名)
- ・私達の子供のために英語の中学校ができるとうれしい。英語学校の中等部を開設して欲しい。(3名)
- ・英語教育は必須。
- ・①英語学校の中等部を開設して欲しい。②山梨の英語のイベント情報を、ニュースレター等で配布して欲しい。

(コロンビア)

- ・もっとイベントや日本語教室等があればいいと思う。

(ジャマイカ)

- ①避難場所の多言語表示等は、災害時の救命に関わるためとても重要。②私はYIAの取り組みに感謝している。

(セネガル)

- ・アフリカ人は、なぜ日本の企業はスペインや他国のように正規雇用をしないのか、不思議に思っている。

(ボリビア)

- ・入国管理局は、特別な場合はもう少し柔軟な対応をして欲しい。皆さん(YIA?)が入国管理局と連絡取り、そのような嘆願をしてもらえると多くの人が助かる。
- ・日本で生活している外国人のための支援がもっとあればいいと思う。皆さんの努力や心遣いに感謝している。

(マレーシア)

- ・身を守るための防災に関する知識がとても必要だが、なかなか手に入らない。義務化してもいいのできちんと教えて欲しい。

* 自由記入欄のコメントに関しては、記載者の意図が伝わるようできるだけ忠実に翻訳し、わかりにくい箇所のみ修正を加えた。

* YIA (Yamanashi International Association) = (財)山梨県国際交流協会

聞き取り調査・結果

聞き取り調査・結果

<主旨・内容>

- ・アンケート調査で得ることが難しい具体的項目に関する意見やコメント、その理由や詳細な状況等を確認するため、別途聞き取り調査を実施した。(実施:35名)
- ・聞き取り調査の項目は、災害関連(緊急時に必要な情報や情報収集方法)に焦点を絞った。また、山梨県と県内のコンビニエンスストアとの包括連携協定における連携事項として「地域防災への協力に関すること」が含まれていることを受け、コンビニの利用頻度や災害情報収集の場としての利用度を質問した。

<項目・回答結果>

① 緊急時の情報を多くの外国人住民に効果的に伝えるために有効だと思う方法・手段

- * 携帯(電話&メール)
 - ・常に持っているため有効
 - ・緊急情報の配信、オートシステムの活用
 - ・アラーム通知(エリアメール)は寝ている時にもわかるので効果的(通信会社や機種によって届かないこともある)
 - ・前回の地震の際、使えなくて不便だった。緊急時にこそ使えるようにしてほしい
 - ・メールの場合多言語か簡単な日本語をローマ字表記してほしい、わかりやすい絵があると理解しやすい
 - ・電話で一斉にメッセージを送る
 - ・日本語がわからない外国人住民に日本語のみで緊急情報を送る場合、日本語が話せるキーパーソンに依頼し、友人・知人に母国語で正確に伝えてもらうことも重要(外国人ネットワークの活用)
- * テレビ
 - ・多くの外国人が正確に理解するために、大切な部分は多言語放送を希望
 - ・重要事項は(国際言語である)英語翻訳表示か通訳を希望
 - ・日本語があまりわからなくても、映像である程度理解できる
 - ・停電の時は困る
 - ・震源地の情報ばかりで、一番知りたいローカル情報が少なく、不安になった
- * 防災無線
 - ・一度に多くの人が聞けるため、効果的
 - ・緊急情報だけでも多言語放送を希望、テープに録音するなどして対応できないか?
 - ・地震の際、家にいていいのか、すぐに避難すべきか、ローカル無線で具体的な指示を伝えてほしい
- * インターネット、フェイスブック
- * パソコン
- * ラジオ

② 震災の時、身を守るために最も知りたい情報

- * 避難場所
 - ・安全で安心できる場所
 - ・家以外の場所にいる時の避難場所→(どこにいる時も近くの避難場所がわかるように、誰が見てもわかる避難所マップを各所に置いてほしい)
 - ・いつ(どのタイミングで)逃げるか、どこに逃げるか、どうやって(誰とどのルートで)逃げるか?
- * 食べものや飲みものに関する情報
 - ・いつどこで手に入るのか?→(正しい情報が届かないとパニックになる)
- * 事前情報・最新情報
 - ・安全な場所に移動するためにも、少しでも早く情報をもらいたい→(工作中など危険な場所にいる時もある)
 - ・いつ頃どの程度の地震がくるのかできるだけ早く知りたい
 - ・その時その場の情報を、すぐに(防災無線等で)放送してほしい
- * 住んでいる地域の情報、身近な町内の情報(救急病院や道路や建物の状況等)
- * 震度(今どのくらい揺れているのか?この後どのくらいの揺れが予想されるのか?)

③ 防災無線、防災訓練、地域の回覧板について

* 防災無線

- ・知っている／聞いている
 - ・内容は大体理解している
 - ・音が響いてわかりにくい
 - ・早いしエコーがかかっている
 - ・緊急時は日本語だけだと難しい
 - ・何を言っているかよくわからないので大事な情報かどうか判断できない
 - ・いろいろな音(トラックや選挙カー等)が聞こえるので、どれが防災無線かわからない
 - ・中央市では団地など場所によってポルトガル語での放送(防災無線)がある

* 防災訓練

- ・参加している／以前参加した事がある
 - ・言葉は通じなくても参考になる事が多い
- ・会社や学校や市の防災訓練に参加したことはあるが最近では忙しくて行っていない
- ・会社で訓練を受けている人は会社にいる時のことはわかっても家にいる時はどうしたらいいかわからない
- ・一度も参加した事がない
 - ・外国人のための地域の避難訓練が必要
 - ・外国人対象の避難訓練があれば参加したい

* 回覧板

- ・知っている／見ている
 - ・見ているが全部日本語なのでわからない部分が多い
 - ・中央市の一部では「MANAKA」(日本語&ポルトガル語の情報誌)と一緒に回覧されるので、重要なお知らせはそちらで確認できる
- ・知らない／回ってこない／見ていない

④ コンビニエンスストア(セブンイレブン・ファミリーマート・ローソン)の利用頻度

- ・毎日／1日に数回(1)
- ・週1回程度／時々(8)
- ・週5回以上／ほぼ毎日(7)
- ・月に1～3回(1)
- ・週2～4回(10)
- ・ほとんど利用しない(5)
- ・利用しているが頻度は不明(3)

⑤ コンビニエンスストアで災害情報を提供していれば、情報収集の場として利用するか？

- ・利用する(31)
 - ・近くにあるから便利
 - ・多くの人が立ち寄り24時間利用できる
 - ・母国語の情報があれば嬉しい／母国語なら必ず利用する
 - ・日本語だけだと利用しない人もいると思う
 - ・外国人ネットワークのある食材店やレストランにも災害情報を置くといい
 - ・多くの人が利用するレジの周り等、わかりやすい所に情報を置いて欲しい
- ・利用しない／わからない(4)

～その他のコメント～

- ・外国人は地震に関する知識が無いので、何を持って逃げればいいのかわからないし、用意しろと言われても忙しくて余裕がないため準備する人はなかなかいない
- ・お店や会社からお金を集め(募金やイベントの収益等)、非常持ち出し袋を用意して外国人全員に配るべき
- ・外国人が参加できるイベントは、いろいろな国の人が集まる交流の機会にもなるので、もっと開催して欲しい
- ・市や町で地域ごとに多言語の避難所マップを作り、全員に配布して家や職場やお店に貼っておくべき(外出中でもその近くの避難所がすぐにわかる)
- ・他県でも外国人のために市町村が十分行動している所は本当に少ない(病院や市役所の表示など、多言語にするともっと便利になる)
- ・時々避難場所が変わるので、新しい正しい情報をきちんと伝えて欲しい

ワーキンググループメンバー

外国人住民実態調査 ワーキンググループメンバー

(敬称略／50音順)

氏名	所属
青山 ジェニー	タイレストラン「ロータス」
安藤 淑子	山梨県立大学 国際政策学部
井上 哲也	中央市 総務部 政策秘書課
江口 ジャネット	PACHAMAMA
岡 久美子	笛吹市 市民環境部 市民活動支援課
奥村 圭子	山梨大学 留学生センター
加藤 順彦	多文化共生を考える会 ハート51
上條 行雄	山梨県日中平和友好会
金 義紘	韓国民団山梨県地方本部
佐野 亀久子	日中交流情報センター
高野 宏	甲府市 市民生活部 人権・男女共同参画課
田中 忠夫	やまなしインターナショナルネットワーク
長坂 香織	山梨県立大学 看護学部
長阪 たか子	山梨日本語ボランティアの会
原 かおり	南アルプス市 総合政策部 政策推進課
マヘンダー ベイッド	(株)M.K.B.FAR EAST
渡辺 秀子	山梨台湾総会